



Sitecore Federated Experience Manager

インストールガイド

インストールおよび設定ガイド

目次

Chapter 1	概要	4
1.1	機能	5
1.1.1	外部サイトのトラッキング	5
1.1.2	外部サイトのパーソナライズ	5
1.1.3	外部アプリケーションのトラッキング	6
1.2	今後のバージョンのサポート	6
Chapter 2	クイック スタート ガイド	7
2.1	インストレーション	8
2.2	外部サイトのトラッキング	8
2.3	パーソナライゼーション	10
2.4	外部アプリケーションのトラッキング	13
2.5	HTTPS の取り扱い	17
2.6	コンテンツ デリバリー ネットワーク (CDN) の取り扱い	18
2.7	マルチ サーバー環境の取り扱い	19
2.8	Sitecore Azure の取り扱い	20
2.9	トラブルシューティング	21
Chapter 3	外部ページのトラッキング	23
3.1	トラッキング プロセス	24
3.2	ビーコン スクリプト	24
3.3	外部サイト	26
3.4	サイト リゾルバー	29
Chapter 4	動的なトラッキング	31
4.1	Web トラッキング ルール	32
4.2	トラッキング設定	33
4.3	コンテンツ トラッキング ルール	33
Chapter 5	クローリング プロセス	35
5.1	概要	36
5.2	Web サイト クローリング プロセス	37
5.3	クローラー	38
5.4	ページ クローリング プロセス	40
5.5	ミラー アイテムの作成プロセス	42
5.6	ミラー アイテム	43
5.7	言語リゾルバー	43

5.8	クローリング ルール	46
5.9	トラッキング設定ルール	47
5.10	ページ クローリングとページ エディター	48
5.11	ページ クローリングと外部ページ ビュー	49
Chapter 6	クローリング プロセスを実行する	51
6.1	オプションの比較	52
6.2	大容量のミラー アイテムの作成	52
6.3	手動によるミラー アイテムの作成	55
6.4	Ad Hoc ミラー アイテムの作成	56
Chapter 7	外部ページのパーソナライゼーション	57
7.1	パーソナライゼーション プロセス	58
7.2	プレースホルダー セレクター	60
Chapter 8	外部アプリケーション トラッキング	62
8.1	トラッキング プロセス	63
8.2	外部アプリケーション	64
8.3	外部アプリケーション設定	65
8.4	パラメーター リーダー	66
8.5	設定ルール	67
8.6	イベント パーサー	68
8.7	トラッキング リクエストがトリガーされた Javascript	71
8.8	トラッキング リクエストがトリガーされた非 Javascript	75
Chapter 9	条件とアクション	76
9.1	FXM Analytics	77
9.2	FXM Content Tracking	79
9.3	FXM Page	80
9.4	FXM Template Definition	82
9.5	FXM Tracking	83
9.6	FXM Tracking Configuration	85
9.7	FXM Web Crawling	86

Chapter 1 概要

Sitecore Federated Experience Manager を使用することによって、非 Sitecore web サイトやアプリケーションでのアクティビティをトラッキングすることが可能です。さらに Sitecore で管理およびパーソナライズされたコンテンツを非 Sitecore web サイトに表示することができます。

この章では、Sitecore Federated Experience Manager の概要について説明します。

1.1 機能

このセクションでは、Federated Experience Manager 機能の概要について説明します。

1.1.1 外部サイトのトラッキング

Sitecore Analytics を使用することによって、顧客の関心やアクティビティについて理解を深めることができます。しかし、仮に Sitecore が Sitecore で管理されているチャンネル上のアクティビティしかトラックできないとすると、傾向を完全に把握することはできません。したがって、包括的なカスタマー エンゲージメント ストラテジーを実現するために、非 Sitecore web サイト上のアクティビティをトラッキングすることが重要になります。

Sitecore Federated Experience Manager では、アナリティクス ベンダーによって使用される共通のアプローチを使用して、Sitecore web サイトおよび非 Sitecore web サイト上でトラッキング機能を使用することができます。

トラックする非 Sitecore ページにはいくつかの Javascript が追加されます。この Javascript は、訪問者が非 Sitecore ページを表示したことを Sitecore に通知します。Federated Experience Manager は非 Sitecore ページに対応する Sitecore アイテムを作成します。このアイテムのことをミラー アイテムと呼びます。ミラー アイテムは、アクティビティをトラックする手段を Sitecore に提供します。

このアプローチによって、Sitecore は標準のリクエスト処理プロセスを非 Sitecore ページのリクエストで使用できるようになります。つまり、すべての Sitecore のトラッキング機能（プロファイリング、ゴール、ページ イベント、エンゲージメント プランなど）を非 Sitecore ページでも使用できるようになります。

1.1.2 外部サイトのパーソナライズ

トラッキングによって、Sitecore は顧客の関心とアクティビティについて理解を深めることができます。ただしこれらの情報を収集する機能自体は、カスタマー エンゲージメント ストラテジーの一貫として Sitecore を使用する主な理由ではありません。これらの情報を使用してカスタマー エンゲージメントに反響させることこそ重要な目的です。

Federated Experience Manager は、パーソナライズされたコンテンツを Sitecore から非 Sitecore web サイトに挿入することができます。このパーソナライゼーションによって、非 Sitecore web サイトを含むすべてのチャンネルから収集した情報を使用して顧客に最も関連性のあるコンテンツを提供することができます。

トラッキング セクションの説明にあるように、トラックされた非 Sitecore ページには、Federated Experience Manager の Javascript が追加されます。訪問者が非 Sitecore ページを表示した場合、訪問者のブラウザから Sitecore にリクエストが送信されます。このリクエストを処理することによって、Sitecore は非 Sitecore のページ ビューをトラックすることができます。

また、Sitecore はこのリクエストを処理することによって、ページ ビューをトラッキングするだけでなくパーソナライズされたコンテンツを生成することもできます。Sitecore が返すレスポンスには、非 Sitecore ページに挿入される

パーソナライズされたコンテンツが含まれます。Sitecore にリクエストを作成する役割を持つ Javascript は、パーソナライズされたコンテンツを Sitecore から非 Sitecore ページに挿入する役割もあります。

1.1.3 外部アプリケーションのトラッキング

トラッキングは外部サイトに限定したものではありません。Federated Experience Manager を使用することによって、外部アプリケーション上のアクティビティもトラックできるようになります。たとえば、訪問者が非 Sitecore サイト上でコメントを残した場合、そのページ イベントを Sitecore に登録したいと考えます。

これは、Sitecore にアクティビティ データを渡すことができる web ベース API を使用することによって実現できます。アクティビティ データが Sitecore に渡された後、Federated Experience Manager を使用してデータの処理方法を設定することができます。

1.2 今後のバージョンのサポート

Federation Experience Manager は、Sitecore 7 (7.1, 7.2 および 7.5) 製品ライン向けに設計されました。

Federated Experience Manager で有効な機能は Sitecore 8 以降にも組み込まれます。ただし、この機能はまったく別の方法で実装されます。これは、Sitecore 8 から有効になるいくつかの新しいプラットフォーム機能を活用するためです。

Sitecore では、Federated Experience Manager 設定を Sitecore 8 に移行する方法についての情報を提供しています。ただしこの移行プロセスは手動になります。Federated Experience Manager の環境設定は高度にカスタマイズされているため、プロセスを自動化するツールを提供することができません。

詳細については、Sitecore プロダクト サポートにお問合せください。

Chapter 2 クイック スタート ガイド

この章では、Federated Experience Manager の最も基本的な設定と使用について説明します。

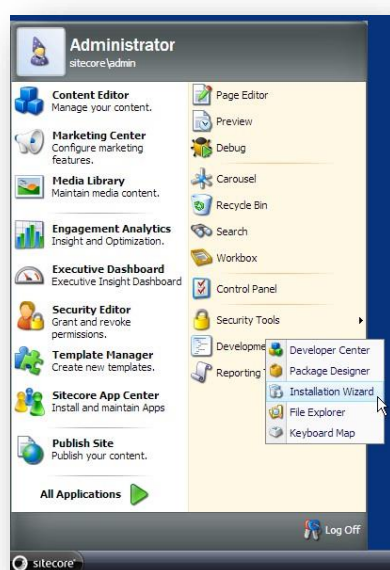
2.1 インストール

Sitecore Federated Manager は、Sitecore インストール ウィザードを使用してインストールします。

メモ:

モジュールを正しく機能させるには、Sitecore サーバー上のライセンスに Federated Experience Manager を含む必要があります。Federated Experience Manager を使用するライセンスの有無を確認するには、Sitecore 現地法人にお問合せください。

1. Sitecore インストール ウィザードを使用して、Federated Experience Manager パッケージをインストールします。



2. [リパブリッシュ] オプションを使用してサイトをパブリッシュします。

2.2 外部サイトのトラッキング

このセクションでは、外部サイトのトラッキングの設定に必要な最小限の手順について説明します。

2.2.1 サイト定義アイテムの作成

非 Sitecore web サイトのトラッキングおよびパーソナライゼーションを実現するためには、Federated Experience Manager でサイトに関する情報を有効にする必要があります。サイト定義アイテムとは、非 Sitecore web サイトを表す Sitecore アイテムです。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/Content/Federated Experience Manager に移動します。
2. [External Site] テンプレートを使用して新しいアイテムを作成します。

3. [Protocol] フィールドで、トラックする外部サイトにアクセスするために使用されるプロトコルを選択します。
4. [Primary Host Name] フィールドに、トラックする外部サイトのホスト名を入力します。
5. アイテムを保存します。
6. アイテムをパブリッシュします。

2.2.2 ビーコン スクリプトを外部サイトに追加する

トラックする外部サイトにビーコン スクリプトを追加する必要があります。下記リンクを外部サイトのページに追加します ([host name] を Sitecore サーバーの適切なホスト名で置換えることに注意してください)。

```
<script type="text/javascript" src="//[host name]/-/fxm/web/"></script>
```

2.2.3 ミラー アイテムを作成する

ミラー アイテムとは、非 Sitecore web サイト上の URL に対応する Sitecore アイテムです。Federated Experience Manage は、トラックする外部 URL ごとにミラー アイテムが存在することを要求します。

ミラー アイテムは様々な方法で作成することができます。ミラー アイテムの作成方法は、このセクションで説明されているオプションのいずれかを使用することになります。状況に応じて適切な作成方法を選択する必要があります。

オプション 1. 一括作成

Federated Experience Manage は、非 Sitecore web サイトをクロールすることができるコンポーネントを含み、非 Sitecore web サイトのページ用にミラー アイテムを作成します。このコンポーネントの利点は、事前にミラー アイテムを作成できることです。これによって、デリバリー サーバー上の負荷を軽減することができます。

追加情報は、セクション 6.2 を参照してください。

オプション 2. 手動による作成

ページ エディターを使用して 非 Sitecore サイトに移動できます。ページ エディターでリンクをクリックした時に、ミラー アイテムが作成されます。

追加情報は、セクション 6.3 を参照してください。

オプション 3. Ad Hoc の作成

訪問者が外部サイトでページを表示した時に、まだミラー アイテムが存在しない場合はミラー アイテムが作成されます。このオプションは手動による作成オプションと似ています。

追加情報は、セクション 6.4 を参照してください。

2.3 パーソナライゼーション

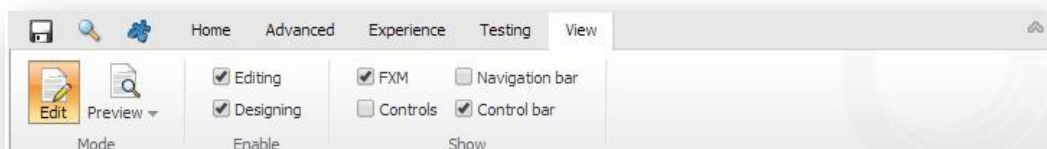
このセクションでは、パーソナライゼーションをサポートするミラー アイテムの設定に必要な最小限の手順について説明します。


2.3.1 プレースホルダーを外部ページに追加する

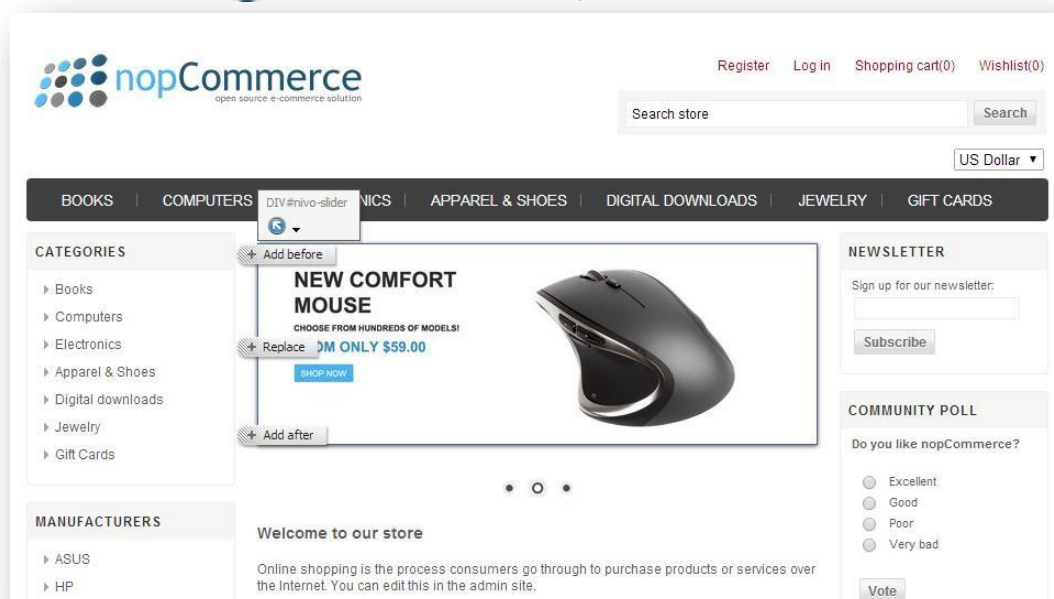
Sitecore レンダリングはパーソナライズされたコンテンツを表示するために使用されます。レンダリングはプレースホルダーを使用してページに追加されます。パーソナライズされたコンテンツを 非 Sitecore ページに追加するには、Sitecore で管理されたページで行うときと同じように、レンダリングをプレースホルダーに追加します。

Federated Experience Manager を使用して外部ページにパーソナライゼーションされたコンテンツを追加する場合、Sitecore にプレースホルダーの配置場所を指定する必要があります。これはプレースホルダー セレクターを使用して行うことができます。

1. ページ エディターで、
/sitecore/content/Federated Experience Manager 配下にある外部サイト アイテムに移動します。
2. プレースホルダーを追加するページに移動します。
3. リボンの [表示] をクリックし、[FXM] チェックボックスを選択します。

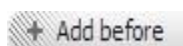
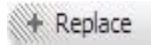
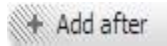


4. ページ内をクリックしてください。クリックした要素が選択状態になります。最初のクリックで、意図した要素が選択できないう場合は  コマンドをクリックして親の要素を選択状態にできます。¹



5. 次のボタンの中からひとつをクリックし、プレースホルダーを追加します。

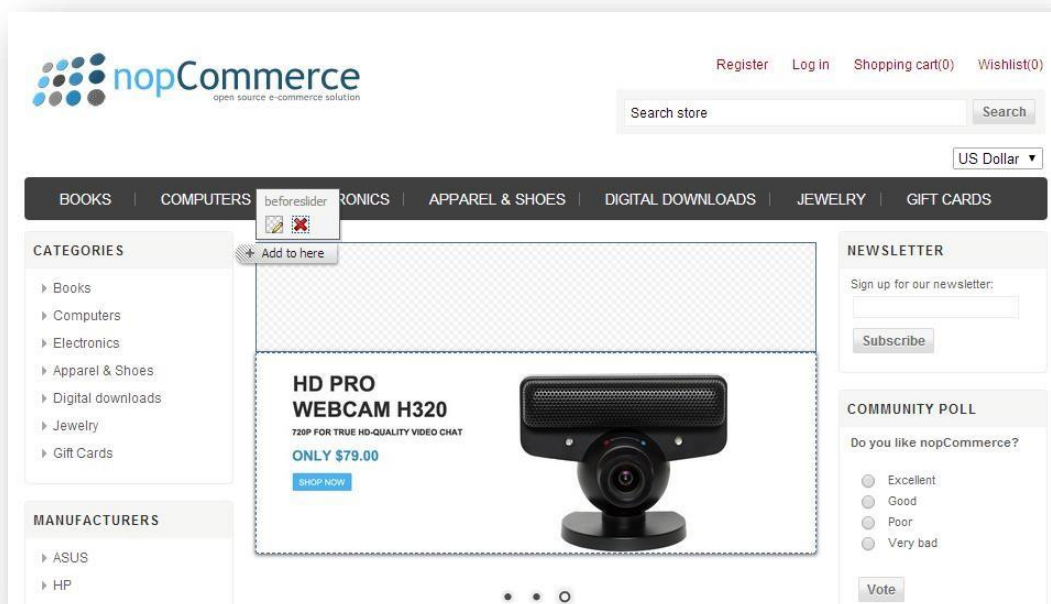
¹ Web ページはネストされた要素の集まりです。たとえば、テーブルには複数の行があります。各行には複数の列があります。各列には固有の要素などがあります。"親" と "子" という用語はこの関係を意味します。この例では、行の親はテーブルです。テーブルの子はその行です。

-  **+ Add before** 選択された要素の前に新しいプレースホルダーを挿入します
-  **+ Replace** 選択された要素をプレースホルダーで置き換えます
-  **+ Add after** 選択された要素の後ろに新しいプレースホルダーを挿入します

6. プレースホルダーの名前を入力し、[OK] をクリックします。プレースホルダー名には 2 つの役割があります。ひとつはプレースホルダーの用途を説明し、もうひとつはプレースホルダー設定を設定するために使用されます。



7. ページに新しいプレースホルダーが表示されます。ページを保存します。



2.3.2 レンダリングを外部ページに追加する

外部ページにレンダリングを追加するには、外部ページに対応するミラー アイテムにレンダリングを追加します。これは他の Sitecore アイテムで行うときと同じように、ページ エディターでミラー アイテムを開いてレンダリングを追加します。

メモ:

レンダリングをプレースホルダーに追加する前に、ページ エディターで FXM モードをオフにする必要があります。

2.4 外部アプリケーションのトラッキング

このセクションでは、外部アプリケーションのトラッキングの設定に必要な最小限の手順について説明します。

このセクションでは特定の例を用いて、外部アプリケーションのトラッキングの設定方法について説明します。外部 web アプリケーションにはボタンがあります。ボタンがクリックされると、Sitecore にページ イベントが登録されます。

メモ:

この例では web アプリケーションのアクティビティを使用しましたが、Federated Experience Manager は web アプリケーションのアクティビティに限定されているわけではありません。任意のアプリケーションからアクティビティを収集することができます。追加情報は、Chapter 8 を参照してください。

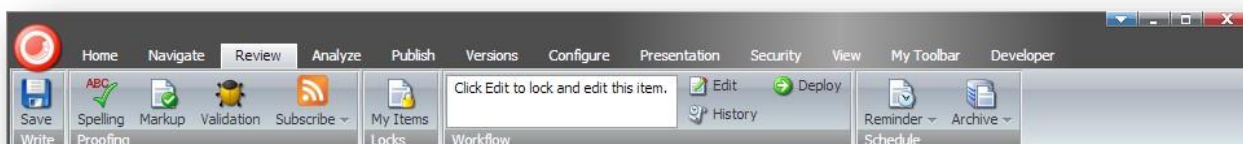
2.4.1 Sitecore に渡すデータを判定する

上記で説明したように、外部 web アプリケーションで特定のボタンがクリックされた場合、Sitecore にページ イベントが登録されます。このページ イベントにはクリックされたボタンの名前が含まれます。

2.4.2 ページ イベントを定義する

Sitecore でページ イベントをトラックするには、ページ イベントの定義アイテムが必要です。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/system/Settings/Analytics/Page Events に移動します。
2. "ページ イベント" テンプレートを使用して、"External Button Click" という名前の新しいアイテムを作成します。
3. [レビュー] タブをクリックし、[配置] をクリックします。



4. アイテムをパブリッシュします。

2.4.3 外部アプリケーションを設定して Sitecore にデータを渡す

Sitecore に渡すデータやその方法を指定するために、外部アプリケーションを修正する必要があります。

1. トラックするボタンを持つ 外部 web ページに下記コードを追加します ("sitecoreUrl" 変数に Sitecore サーバーのロケーションを設定します)

```
<script type="text/javascript">
  var sitecoreUrl = 'http://[sitecore host name]/';
  var _scFxmAnalytics = _scFxmAnalytics || [];
  _scFxmAnalytics.push(['_setDomain', sitecoreUrl]);

  (function () {
    var js = document.createElement('script');
    js.type = 'text/javascript';    js.async = true;
    js.src = sitecoreUrl + 'Fxm/Analytics/js/Client.js';
    var firstScriptElement = document.getElementsByTagName('script')[0];
    firstScriptElement.parentNode.insertBefore(js, firstScriptElement);
  })();
</script>
```

2. 下記コードをボタンの "onclick" イベント ハンドラーに追加します。

```
_scFxmAnalytics.push(['_trackEvent', {buttonName: 'my external button'}]);
```

2.4.4 Sitecore で外部アプリケーションを定義する

Federated Experience Manager は定義された外部アプリケーションからのデータのみ許可します。このセクションでは、外部アプリケーションの定義方法について説明します。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/External Applications に移動します。
2. "External Web Application" テンプレートを使用して新しいアイテムを作成します。
3. [HostName] フィールドに、外部アプリケーションをホストしている web サーバーのホスト名を入力します。
4. [ParametersReader] フィールドで [Form Reader] を選択します。
5. アイテムを保存します。
6. アイテムをパブリッシュします。

2.4.5 Sitecore を設定して外部アプリケーションからのデータを許可する

外部ドメインを定義した後は、ドメインを設定し、Federated Experience Manager に外部アプリケーションからのデータの処理方法を指定する必要があります。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/External Application Configurations に移動します。
2. "External Application Configuration" テンプレートを使用して、新しいアイテムを作成します。
3. [ExternalApplications] フィールドで、セクション 2.4.4 で追加した外部 web アプリケーション アイテムを選択します。
4. [設定] フィールドで、[ルールを編集する] をクリックします。

5. 次の条件を追加します。
 - a. **セクション:** Fxm Analytics
 - b. **条件 :** Where the specific parameter names parameters are not empty

Rule 1

[where](#) the [specific parameter names](#) parameters are not empty

[Add a new rule](#)

6. "specific parameter names" 変数を"buttonName" に設定します。

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

[Add a new rule](#)

7. 次のアクションを追加します。
 - a. **セクション:** Fxm Analytics
 - b. **アクション:** track the specific page event and set DataKey value from the specific parameter, Data value from the specific parameter and Text value from the specific parameter

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

track the [specific](#) page event and set DataKey value from the [specific](#) parameter, Data value from the [specific](#) parameter and Text value from the [specific](#) par

[Add a new rule](#)

8. "specific page event" 変数を、セクション 2.4.2 で作成したページ イベント アイテムに設定します。

```
Rule 1
where the buttonName parameters are not empty

track the External Button Click page event and set DataKey value from the specific parameter, Data value from the specific parameter and Text value from th

Add a new rule
```

9. "Data value parameter" 変数を"buttonName" に設定します。

```
Rule 1
where the buttonName parameters are not empty

track the External Button Click page event and set DataKey value from the specific parameter, Data value from the buttonName parameter and Text value fr

Add a new rule
```

10. [OK] をクリックします (ルールが正しく機能しない可能性を知らせる警告が表示されますが問題ありません。この条件では他の変数はオプションです。)

```
Edit Rule
Configuration [shared]:
Rule 1
where the buttonName parameters are not empty
track the External Button Click page event and set DataKey value from the specific parameter, Data value from the buttonName parameter and Text value from
the specific parameter
```

11. アイテムを保存します。

12. アイテムをパブリッシュします。

13. Sitecore 外部アプリケーションでボタンをクリックした場合、Sitecore にページ イベントが登録されます。

2.5 HTTPS の取り扱い

HTTPS が使用されている場合もトラッキングは可能ですが、いくつか制限があります。次の表では、一方または両方のシステムが HTTPS を使用する場合におけるサポート対象/対象外の項目について確認します。

External site protocol	Sitecore protocol	Website tracking	Application tracking	Website personalization	Page Editor support	Notes
http	http	Yes	Yes	Yes	Yes	
https	http	No	Yes	No	No	ブラウザは 保護されたソースのスク립トをリクエストが保護されていない転送先に送信することを許可しません。
http	https	Yes	Yes	Yes	No	ブラウザは 保護されたソースのスク립トをリクエストが保護されていない転送先に送信することを許可しません。
https	https	Yes	Yes	Yes	Yes	

2.6 コンテンツ デリバリー ネットワーク (CDN) の取り扱い

Federated Experience Manager は、CDN (コンテンツ デリバリー ネットワーク) によって配送される web サイトのトラッキングおよびパーソナライゼーションをサポートします。

トラッキングおよびパーソナライゼーションを行うために、Sitecore から ビーコン スクリプトを配信する必要があります。これは、ビーコン スクリプトを CDN にキャッシュすることや、ビーコン スクリプトを CDN から配信することができないことを意味します。

2.7 マルチ サーバー環境の取り扱い

マルチ サーバー環境に Federated Experience Manager をインストールする場合、デリバリー サーバーはトラックされる外部サイトにアウトバウンド リクエストを作成する必要があります。これはクローリング プロセスで必要になります。デリバリー サーバーを作用するファイアウォールが正しく設定されていることを確認してください。

2.8 Sitecore Azure の取り扱い

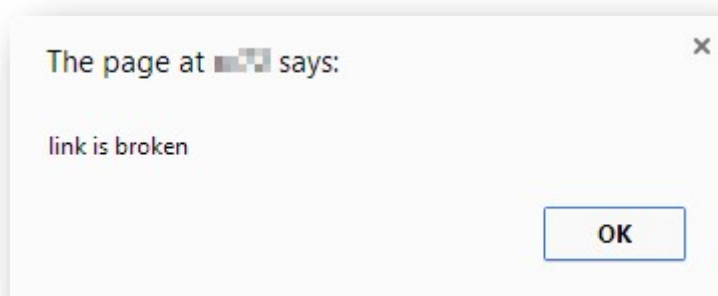
Federated Experience Manager で Sitecore Azure を取り扱うための特別な設定はありません。

2.9 トラブルシューティング

このセクションでは、一般的な問題について説明します。

2.9.1 リンク切れのポップアップ メッセージ

問題: ページ エディターでリンクをクリックすると、リンク切れのメッセージ付きポップアップ メッセージが表示される。



解決策: クローリング ルールに、ミラー アイテムを作成しない方法が指定されています。クローリング ルールを確認してください。

2.9.2 ページ エディター外に移動するページ エディター リンク

ページ エディターでリンクをクリックすると、ページエディターから抜けてしまい、直接外部のページが表示されてしまう。

問題:

解決策

1:

リンク用のミラー アイテムがありません。クローリング ルールにこのリンク用のミラー アイテムの作成を回避する設定がされている可能性があります。

ミラー アイテムを作成するために、外部サイトの定義アイテムでクローリング ルールを変更してください。

解決策

2:

外部サイトの定義アイテムで指定されたプライマリ ホスト名と異なるホスト名がリンクに使用されている可能性があります。たとえば、プライマリ ホスト名は "www.something.com" ですが、リンクには "something.com" という名前が使用されています。

外部サイトの定義アイテムの [Additional Host Names] フィールドに、適切なホスト名を追加します。

解決策

3:

Federated Experience Manager がリンクのマークアップを認識していないため、リンクが上書きされていません。詳細については、セクション 5.10.2 を参照してください。

2.9.3 ページ エディター リンクで別の Sitecore サイトに移動する

問題: ページ エディターでリンクをクリックすると、別の Sitecore サイト上のページに移動される

解決策

1:

URL のホスト名はいかなる外部サイトにも一致しませんが、URL の path はデフォルトの Sitecore サイト アイテムに解決される可能性があります。外部サイトの定義アイテムで指定されたプライマリ ホスト名とは異なるホスト名がリンクに使用されている可能性があります。たとえば、プライマリ ホスト名は "www.something.com" ですが、リンクには "something.com" という名前が使用されています。

外部サイトの定義アイテムの [Additional Host Names] フィールドに、適切なホスト名を追加してください。

解決策 2:

URL のホスト名はいかなる外部サイトにも一致しませんが、URL の path はデフォルトの Sitecore サイト アイテムに解決される可能性があります。Federated Experience Manager がリンクのマークアップを認識していないため、リンクが上書きされていません。詳細については、セクション 5.10.2 を参照してください。

Chapter 3 外部ページのトラッキング

この章では、非 Sitecore web ページのトラッキング方法について説明します。

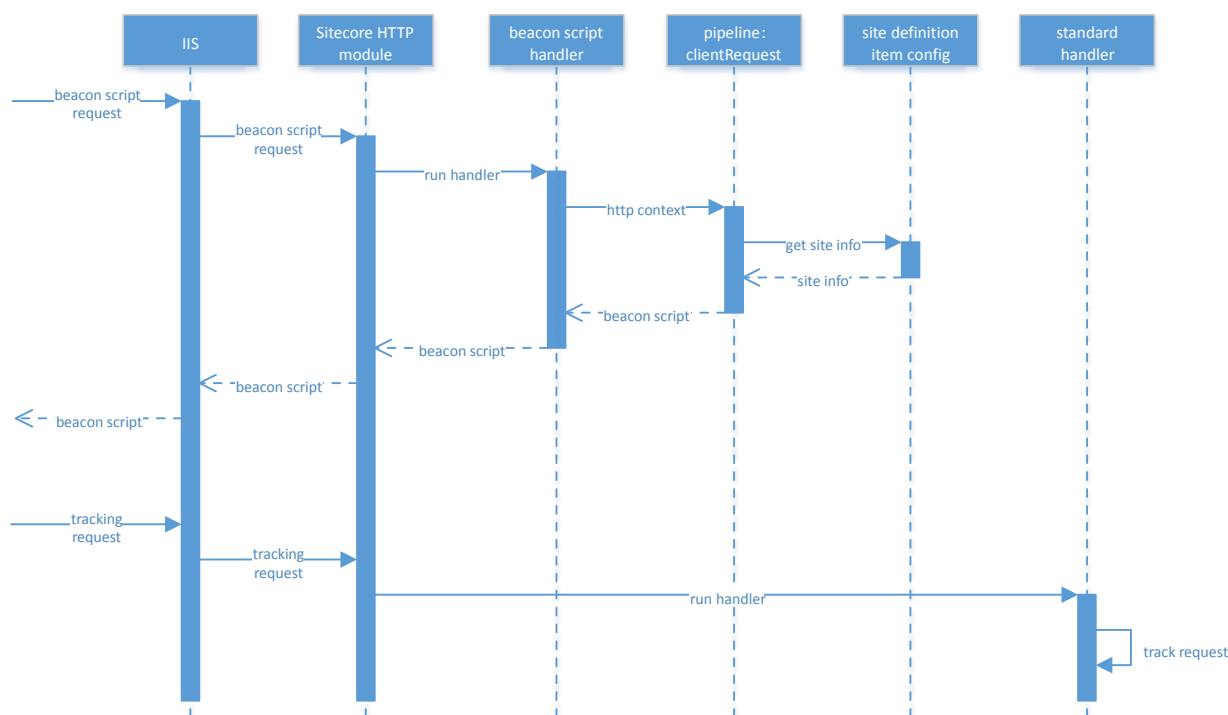
3.1 トラッキング プロセス

Sitecore で外部ページ ビューをトラックするためには、外部ページに Javascript ファイルのリンクを追加する必要があります。この Javascript ファイルのことを "ビーコン スクリプト" と呼びます。ビーコン スクリプトは、外部ページが表示されたことを Sitecore に通知する役割があります。

ブラウザが ビーコン スクリプトのリンクを持つページのリクエストを作成した場合、ブラウザは ビーコン スクリプト用に別のリクエストを作成します。ビーコン スクリプト リクエストが送信されると、ブラウザは ビーコン スクリプト リンクを持つページの URL を指定するリクエストに情報を含めます。(これは標準のブラウザ機能です。)

ブラウザが ビーコン スクリプトをダウンロードした後、ブラウザは ビーコン スクリプトを実行します。ビーコン スクリプトは適切なミラー アイテム用に Sitecore に AJAX コールバックを作成します。Sitecore は他の Sitecore リクエストで行う際と同じように、このリクエストをトラックします。

次のシーケンス図は、ビーコン スクリプトの作成方法とその操作方法について示したものです。



3.2 ビーコン スクリプト

ビーコン スクリプトは、Sitecore にトラッキング リクエストを送信する役割があります。

3.2.1 ビーコン スクリプト URL

ビーコン スクリプトの URL は、`/-/fxm/web` です。リンクを ビーコン スクリプトに追加するためには、トラックする外部ページに次のマークアップを追加する必要があります。

```
<script type="text/javascript" src="//[host]/-/fxm/web"></script>
```

3.2.2 ビーコン スクリプトの作成

ビーコン スクリプトは静的なファイルではありません。ビーコン スクリプトはトラッキング リクエストごとに動的に生成されます。

これは外部サイトにビーコン スクリプトを追加するプロセスを簡易にします。常に全く同じコードを外部サイトに追加します。

ビーコン スクリプトはカスタムの `System.Web.IHttpHandler` によって作成され、これは `"fxm.web.clientRequest"` パイプラインを呼び出します。ハンドラーとパイプラインはどちらも `Sitecore.Fxm.Web.config` ファイルで定義されます。

3.2.3 jQuery

ビーコン スクリプトは jQuery を要求します。ビーコン スクリプトが jQuery を検出しない場合は自動的に参照が含まれます。

Federated Experience Manager は、次の設定を使用して、必要に応じてどこから jQuery をロードするか判定します。これらの設定は `Sitecore.Fxm.Web.config` ファイルで定義されます。

設定名	説明
Fxm.Web.InternaljQuerySrc	ページ エディター内でビーコン スクリプトがロードする jQuery ライブラリの配置場所。
Fxm.Web.ExternaljQuerySrc	外部リクエスト用にビーコン スクリプトがロードする jQuery の配置場所。

3.2.4 クロス サイト スクリプティング (XSS)

Sitecore が ビーコン スクリプトを配信する場合、Sitecore は外部ページに組み込まれた Javascript のブロックを配信しています。これは悪質なものではありませんが、デフォルトではクロスサイト スクリプティングです。

Federated Experience Manager は CORS を使用してクロス サイト スクリプティングを有効化します。

3.3 外部サイト

外部サイトとは、ビーコン スクリプトを使用してトラックおよびパーソナライズされる web サイトのことです。

3.3.1 外部サイトを定義する

Sitecore 内で、各外部サイトは/sitecore/content/Federated Experience Manager 配下で定義された Sitecore アイテムで表わされます。外部サイト アイテムは、サイト定義アイテムまたはミラー サイト アイテムとも呼ばれます。

サイト定義アイテムは、テンプレート/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/External Site に基づきます。

3.3.2 テンプレート: 外部サイト

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名	説明
Path	クローलされた外部サイト上のページの path を示す読み取り専用フィールドです。
Protocol	クローラーは外部サイトをクロールする際にこのプロトコルを使用します。
Primary Host Name	クローラーは、外部サイトをクロールする際にこのホスト名を使用します。 ミラー プロバイダーは、ホスト名からサイトを解決するためにこの値を使用します。
Additional Host Names	プライマリ ホスト名に加え、ミラー プロバイダーはこのフィールドの値を使用してホスト名からサイトを解決します。
Default Documents	ミラー プロバイダーは、ミラー アイテムを解決する際にこれらの値を使用します。
Site Resolver	外部サイト用に使用されるサイト リゾルバーです。 サイト リゾルバーについての追加情報は、セクション 3.4 を参照してください。
Site Name	外部サイトのリクエストの処理とトラッキングに使用される Sitecore サイトの名前です。 この値はアイテムが作成された場合に生成されます。読み込み専用です。 この値を変更するとトラッキング データが損なわれる可能性があります。
Common Web Tracking Rules	サイト内のすべてのミラー アイテムに適用する Web トラッキング ルールです。

	Web トラッキング ルールについての追加情報は、セクション 4.1 を参照してください。
Common Tracking Settings	サイト内のすべてのミラー アイテムに適用するトラッキング設定です。 トラッキング設定についての追加情報は、セクション 4.2 を参照してください。
Web Tracking Rules	ルート ミラー アイテムのみに適用する web トラッキング ルールです。 Web トラッキング ルールについての追加情報は、セクション 4.1 を参照してください。
Tracking Settings	ルート ミラー アイテムのみに適用するトラッキング設定です。 トラッキング設定についての追加情報は、セクション 4.2 を参照してください。
Crawler	サイト用に使用されるクローラーです。 クローラーについての追加情報は、セクション 5.3 を参照してください。
Crawl Root Path	クローラーが開始する外部サイトの Path です。 このフィールドに値がない場合は、クローラーは "/" から開始します。
Crawling Rules	ページ クローリング プロセス中に使用されるクローリング ルールです。 クローリング ルールについての追加情報は、セクション 5.8 を参照してください。
Template Definition Rules	ページ クローリング プロセス中にミラー アイテムに使用されるテンプレートを判定するルールです。
Tracking Configuration Rules	ページ クローリング プロセス中にミラー アイテムに割り当てられるトラッキング設定を判定するルールです。
Default Language	言語リゾルバーがリクエストの言語と一致しない場合にミラー アイテムに使用される言語です。
Language Resolver	サイトに使用される言語リゾルバーです。 言語リゾルバーについての追加情報は、セクション 5.6 を参照してください。
Common Placeholder Selectors	サイト内のすべてのミラー アイテムに適用するプレースホルダー セクターです。 プレースホルダー セクターについての追加情報は、セクション 7.2 を参照してください。
Placeholder Selectors	ルート ミラー アイテム用のプレースホルダー セクターです。

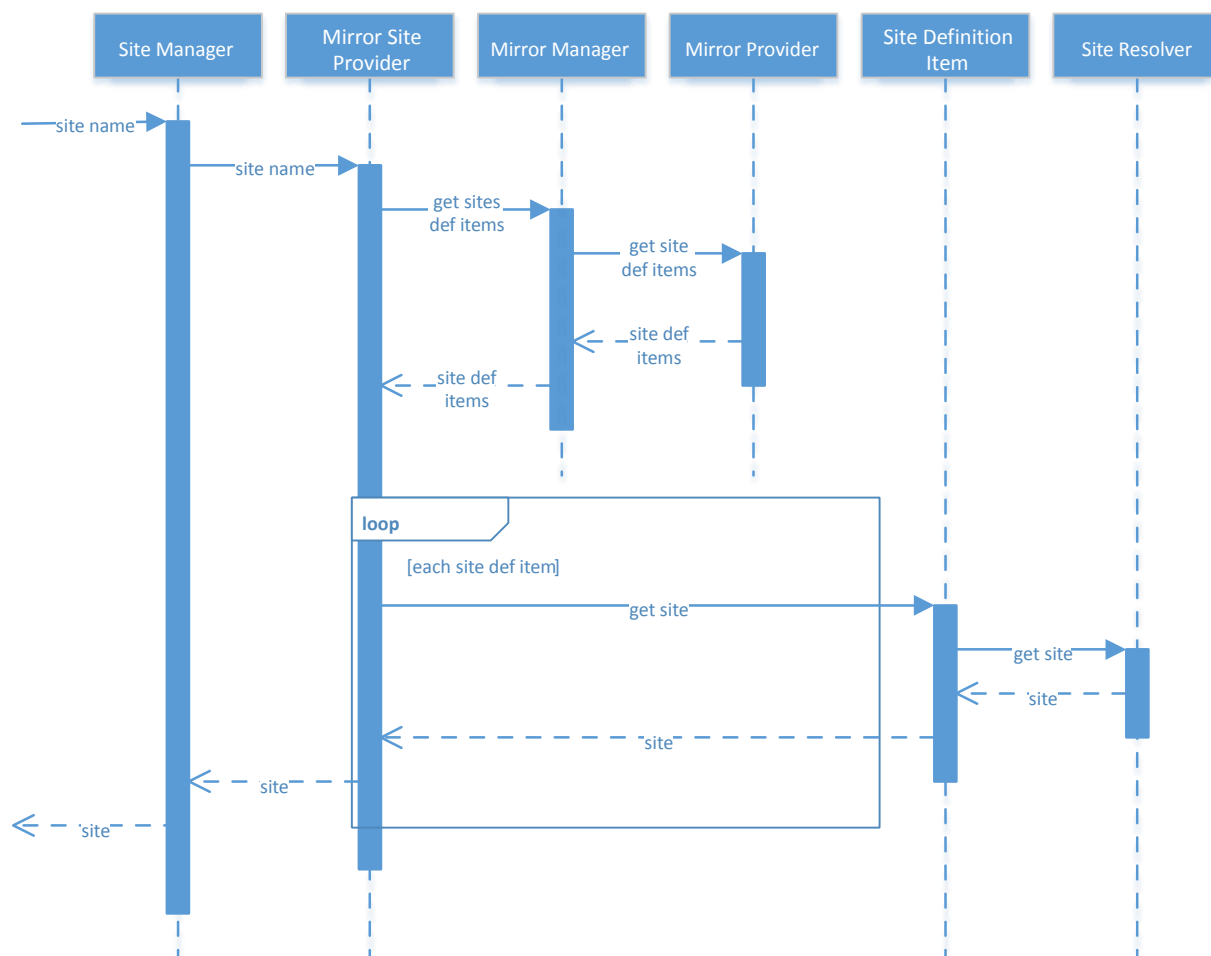
プレースホルダー セレクターについての追加情報は、セクション 7.2 を参照してください。

3.4 サイトリゾルバー

サイトの定義アイテムはそれぞれ別の Sitecore サイトです。このため、Sitecore サイトのトラッキング リクエストと外部サイトを区別することができます。サイト リゾルバーは Sitecore サイトにプロパティを設定する役割があります。

3.4.1 サイト解決プロセス

次のシーケンス図は、サイトの解決プロセスについて示したものです。



メモ:

このシーケンス図には、ミラー サイト プロバイダーが他のサイト(外部ではない)を解決する手順は含まれません。他のサイト用に使用するサイト プロバイダーの種類をミラー プロバイダー設定に指定することができます。ミラー サイト プロバイダー設定についての追加情報は、セクション 3.4.2 を参照してください。

3.4.2 ミラー サイト プロバイダー

ミラー サイト プロバイダーは、サイト定義アイテムを Sitecore サイトとして公開する Sitecore サイト プロバイダーです。

ミラー サイト プロバイダーは、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config で設定されます。次の値は config ファイルで指定されます。

名前	タイプ	説明
impl	コンストラクタ パラメータ –	FXM 以外のサイトを解決するために使用される Sitecore.Sites.SiteProvider タイプです。
database	プロパティ	デリバリー環境用にサイト定義アイテムが定義される Sitecore データベースです。通常このデータベースが "web" データベースになります。

3.4.3 サイト リゾルバーを指定する

各サイト定義アイテムは、それぞれに割り当てられたサイト リゾルバーを持つ場合があります。ひとつのサイト リゾルバーが複数のサイト定義アイテムに割り当てられる場合があります。

3.4.4 サイト リゾルバーを定義する

各サイト リゾルバーは、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Web/Site Resolvers 配下で定義された Sitecore アイテムによって表されます。

サイト リゾルバーの定義アイテムは、テンプレート /sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/SiteResolver に基づきます。

3.4.5 テンプレート: サイト リゾルバー

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名	説明
タイプ	サイト リゾルバーを実装するタイプの完全修飾名です。
SiteParameters	Sitecore.Sites.Site コンストラクタに渡されるパラメーターです。

Chapter 4 動的なトラッキング

標準の Sitecore トラッキング オプション (プロファイリング、ゴール、キャンペーンなど) は、個々の Sitecore アイテムに割り当てられます。これは非常に静的なトラッキング設定の割り当て方法です。

Federated Experience Manager は、動的にトラッキング設定を割り当てるオプションをいくつか提供します。この章では、有効なオプションについて紹介します。

4.1 Web トラッキング ルール

Web トラッキング ルールは、Sitecore ルール エンジンを使用して外部ページが表示された場合に登録されるトラッキング オプションを判定します。

Web トラッキング ルールは、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config に含まれる "startTracking" に加えて実装されます。

4.1.1 サイト全体の Web トラッキング ルール

サイト全体の Web トラッキング ルールは、特定のサイト内のすべてのトラッキング リクエストに適用されます。これらのトラッキング ルールは、外部サイトの定義アイテムのフィールド "Common Web Tracking Rules" を使用して定義されます。

4.1.2 ページ固有の Web トラッキング ルール

ページ固有の Web トラッキング ルールは、特定のミラー アイテムのすべてのトラッキング リクエストに適用されます。これらのトラッキング ルールは、ミラー アイテムの定義アイテムのフィールド "Web Tracking Rules" を使用して定義されます。

4.1.3 条件とアクション

デフォルトでは、次の条件とアクションが有効です。

分類	参照セクション
FXM ページ	セクション 9.3
FXM トラッキング	セクション 9.5

4.2 トラッキング設定

トラッキング設定によって、トラッキング オプションの定義とトラッキング オプションのアプリケーションを区別することができます。これによるメリットは、複数のアイテムで使用されるトラッキング オプションの割り当ておよび管理が簡単になることです。

例を用いてしくみを確認します。

"New Mother Mary" ペルソナを使用して 3 つの外部サイトがトラックされる環境を想定します。このペルソナ用にプロフィールが必要な各 3 つの外部サイト上にページがあります。

新しいトラッキング設定アイテムを作成し、そのアイテムのペルソナにトラッキング オプションを割り当てることができます。次に、割り当てた設定を使用して、トラックする 3 つの外部サイト上のページにトラッキング設定を割り当てます。これで訪問者が 3 つの外部サイト上のいずれかのページを表示した場合、トラッキング設定アイテムに割り当てたトラッキング オプションが Sitecore に登録されます。

4.2.1 トラッキング設定を定義する

トラッキング設定アイテムは /sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Web/Tracking Settings アイテム配下で定義されます。ここで定義されたアイテムは、サイト全体のトラッキング 設定(セクション 4.2.2 参照) や、ページ固有のトラッキング設定 (セクション 4.2.3 参照) として選択することができます。

4.2.2 サイト全体のトラッキング設定

外部サイトの定義アイテムのフィールド "Common Tracking Settings" を使用して、特定のサイトにトラッキング設定を割り当てることができます。トラッキング設定アイテムの定義方法についての追加情報は、セクション 4.2.1 を参照してください。

4.2.3 ページ固有のトラッキング設定

外部ページに対応するミラー アイテムの "Tracking Settings" フィールドを使用して、特定のページにトラッキング設定を割り当てることができます。トラッキング設定アイテムの定義方法についての追加情報は、セクション 4.2.1 を参照してください。

4.3 コンテンツ トラッキング ルール

サイト全体およびサイト固有のオプションを使用することによって、ミラー アイテムが表示された場合に使用するトラッキング オプションのアイテムを選択できます。しかし動的なアイテムが必要な場合はどうすればよいでしょう？

たとえば、数千の商品を表示する外部の電子商取引サイトについて考えてみましょう。各商品の詳細ページをトラックするとします。各商品の詳細ページのトラッキング オプションは商品のカテゴリーによって変わります。コンテンツトラッキング ルールはこのような要求をサポートするように設計されています。

コンテンツトラッキング ルールは、標準の Sitecore トラッキング プロセス中に適用されます。

メモ:

コンテンツトラッキング ルールはミラー アイテムに限定して適用されるものではありません。Sitecore でトラックされたすべてのアイテムに適用されます。これは、config ファイル Sitecore.Fxm.ContentTracker.config に含まれるパイプライン "startTracking" の追加により、グローバル トラッキング ルールが適用されるためです。

4.3.1 コンテンツトラッキング ルールを指定する

コンテンツトラッキング ルールは、/sitecore/system/Settings/Rules/Federated Experience Manager/Content Tracker/Content Tracking/Rules アイテム配下で定義されます。

4.3.2 条件とアクション

デフォルトでは、次の条件とアクションが有効です。

分類**参照セクション**

FXM コンテンツトラッキング

セクション 9.2

Chapter 5 クローリング プロセス

この章では、Federated Experience Manager によるミラー アイテムの作成とメンテナンス方法について説明します。ミラー アイテムがいつどのように作成、更新されるかについて説明します。

5.1 概要

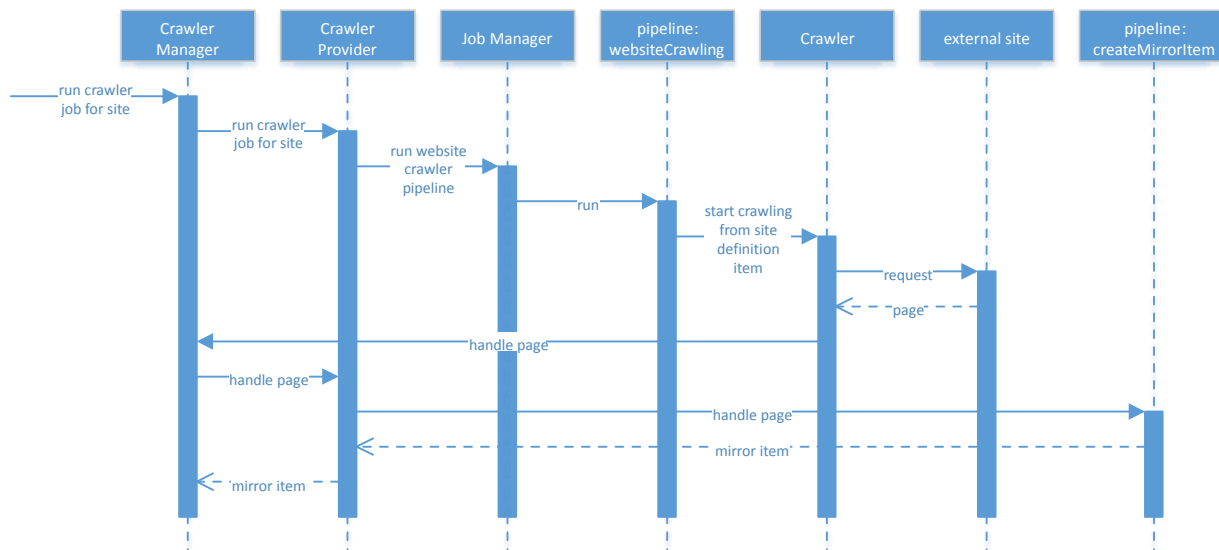
Federated Experience Manager では、各外部サイトはサイト定義アイテムによって表されます。サイト定義アイテムは割り当てられたクローラーを持ちます。クローラーは、外部サイトへのリクエストを作成し、レスポンスを使用してサイト定義アイテムの設定に基づいてミラーアイテムを更新する役割があります。

クローリング プロセスは 2 つのモードで実行できます。Web サイト クローリング モードには、HTTP リクエストの構築、リクエストの転送、レスポンスの処理を行うタスクがあります。ページ クローリング モードは HTTP レスポンスが既に有効化されていることを前提とし、主にレスポンスの処理を行います。

5.2 Web サイト クローリング プロセス

名前から分かるように、Web サイト クローリング プロセスは web サイトのクローリングに関連します。これは多数の I/O 操作を起動します。これは潜在的なリソースで、時間に厳密なタスクです。このため Web サイトのクローリング プロセスはジョブとして開始されます。

次のシーケンス図は、Web サイトのクローリング プロセスの操作について示したものです。



5.2.1 クローラー マネージャー

Web サイト クローリング プロセスは、クローラー マネージャーで "RunCrawlerJobFor" メソッドを使用して開始されます。このメソッドは、クローラー プロバイダー上で同様の名前を持つメソッドを呼び出します。

5.2.2 クローラー プロバイダー

クローラー プロバイダーの "RunCrawlerJobFor" メソッドは、Web サイト クローリング プロセスを実行するジョブを作成して開始します。

ジョブが実行された場合に開始されるメソッドは "Crawl" メソッドです。このメソッドは、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config で定義されたパイプライン "fxm.web.websiteCrawling" を実行します。

5.2.3 パイプライン: fxm.web.websiteCrawling

このパイプラインは、使用するクローラーの判定、クローラーの初期化、クローラーの実行を行う役割があります。

このパイプラインのプロセッサは、

Sitecore.Fxm.Web.Pipelines.WebsiteCrawling.WebsiteCrawlingProcessor クラスから継承する必要がありま

5.3 クローラー

クローラーは Web サイト クローリング プロセスで使用されます。クローラーは、外部ページのリクエストを作成し、その結果をページ クローリング プロセスに渡す役割があります。

5.3.1 クローラーを指定する

各サイト定義アイテムは、それぞれ割り当てられたクローラーを持つ場合があります。ひとつのクローラーが複数のサイト定義アイテムに割り当てられる場合があります。

5.3.2 クローラーを定義する

各クローラーは、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Web/Crawlers 配下で定義された Sitecore アイテムによって表されます。

Federated Experience Manager には Abot C# Web クローラーを使用するクローラーがあります。これはオープンソースの .NET ベース クローラーです。Abot クローラーについての追加情報は、<https://code.google.com/p/abot/> を参照してください。

このクローラーは、テンプレート /sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/Crawlers/AbotCrawler に基づく定義アイテムを使用して設定されます。

このテンプレートの各フィールドは Abot クローラーの設定を表します。

このテンプレートには設定可能な次のフィールドがあります。

フィールド名	説明
タイプ	クローラーを実装するタイプの完全修飾された名前です。この値を変更する必要はありません。

次のテンプレート フィールドは、クローラーによって使用される Abot.Poco.CrawlConfiguration インスタンス上のプロパティに対応します。

フィールド名	プロパティ名	デフォルト値
MaxConcurrentThreads	MaxConcurrentThreads	2
MaxPagesToCrawl	MaxPagesToCrawl	100000

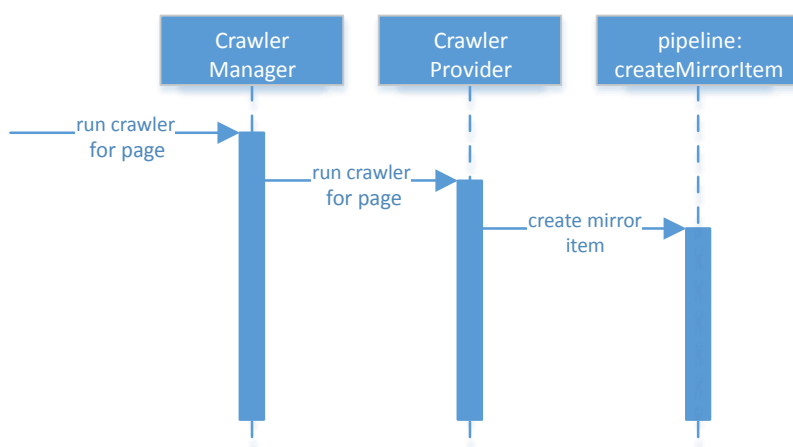
MaxPagesToCrawlPerDomain	MaxPagesToCrawlPerDomain	0
MaxPageSize	MaxPageSizeInBytes	0
MaxCrawlDepth	MaxCrawlDepth	100
MinCrawlDelayPerDomain	MinCrawlDelayPerDomainMilliSeconds	0
IsUriRecrawlingEnabled	IsUriRecrawlingEnabled	false
IsExternalPageCrawlingEnabled	IsExternalPageLinksCrawlingEnabled	false
UserAgentString	UserAgentString	
DownloadableContentTypes	DownloadableContentTypes	text/html
HttpServicePointConnectionLimit	HttpServicePointConnectionLimit	2
IsExternalPageLinksCrawlingEnabled	IsExternalPageCrawlingEnabled	false
IsHttpRequestAutomaticDecompressionEnabled	IsHttpRequestAutomaticDecompressionEnabled	false
IsHttpRequestAutoRedirectsEnabled	IsHttpRequestAutoRedirectsEnabled	true
HttpRequestMaxAutoRedirects	HttpRequestMaxAutoRedirects	7
HttpRequestTimeout	HttpRequestTimeoutInSeconds	30
CrawlTimeout	CrawlTimeoutSeconds	abot
RobotsDotTextUserAgentString	RobotsDotTextUserAgentString	0
MaxRobotsDotTextCrawlDelayInSeconds	MaxRobotsDotTextCrawlDelayInSeconds	0
IsRespectRobotsDotTextEnabled	IsRespectRobotsDotTextEnabled	false
MaxMemoryUsageInMb	MaxMemoryUsageInMb	0

MaxMemoryUsageCacheTimeInSeconds	MaxMemoryUsageCacheTimeInSeconds	0
MinAvailableMemoryRequiredInMb	MinAvailableMemoryRequiredInMb	0

5.4 ページ クローリング プロセス

ページ クローリング プロセスは、ミラー アイテムを作成または更新するために、クローラーによって取得される情報を処理します。

次のシーケンス図は、ページ クローリング プロセスについて示したものです。



ページ クローリング プロセスは、次の条件下で実行されます。

- コンテンツ編集者がページ エディターでミラー アイテムを表示し、リンクをクリックした場合。FXM にはページ クローリング プロセスをトリガーするカスタムの EditorLinkProvider が含まれます。
- クローラー (IWebCrawler のインスタンスを意味します) が URL を処理する場合。
- トラッキング リクエストがクローリングをトリガーする場合。

5.4.1 クローラー マネージャー

ページ クローリング プロセスは、クローラー マネージャーで "CrawlPage" メソッドを使用して開始されます。このメソッドはクローラー プロバイダーで同じ名前を持つメソッドを呼び出します。

5.4.2 クローラー プロバイダー

クローラー プロバイダーの "CrawlPage" メソッドは、ミラー マネージャーで "CreateMirrorItem" メソッドを呼び出します。

5.4.3 ミラー マネージャー

ミラー マネージャーの "CreateMirrorItem" メソッドは、ミラー プロバイダーで同様の名前を持つメソッドを呼び出します。

5.4.4 ミラー プロバイダー

ミラー プロバイダーの "CreateMirrorItem" メソッドは、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config で定義されたパイプライン "fxm.web.createMirrorItem" を実行します。

5.4.5 パイプライン: fxm.web.createMirrorItem

このパイプラインは、ミラー アイテムの作成プロセスをコントロールする役割があります。ミラー アイテムの作成プロセスについての詳細は、セクション 5.5 を参照してください。

このパイプラインのプロセッサは、クラス

Sitecore.Fxm.Web.Pipelines.CreateMirrorItem.CreateMirrorItemBase

から継承する必要があります。

5.4.6 パイプライン: fxm.web.resolveMirrorTemplate

このパイプラインは、ミラー アイテムを作成するクローリング プロセス中に使用されるテンプレートを判定します。ミラー アイテムの作成プロセスについての詳細は、セクション 5.5 を参照してください。

このパイプラインのプロセッサは、クラス

Sitecore.Fxm.Web.Pipelines.ResolveMirrorTemplate.ResolveMirrorTemplateProcessor

から継承する必要があります。

5.5 ミラー アイテムの作成プロセス

ミラー アイテムの作成プロセスは、Sitecore に適切な外部ページを表示するために外部ページについての情報を使用します。これには、ミラー アイテムの作成に使用するテンプレートや、ミラー アイテムの名前、ミラー アイテムに割り当てるトラッキング オプションを判定するための情報などが含まれます。

このプロセスは単に新しいミラー アイテムを作成するだけでなく、既に存在するミラー アイテムの更新も行います。

ミラー アイテムの作成プロセスは、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config で定義されたパイプライン "fxm.web.createMirrorItem"によって処理されます。

次のセクションでは、このパイプラインの重要事項について説明します。

5.5.1 言語解決

複数言語の外部サイトを正確にトラックするためには、複数の外部 URL が言語のみ異なる同じコンテンツを表していることを Federated Experience Manager が認識できる必要があります。このロジックは、"ResolveLanguage" プロセッサによって処理されます。

このプロセッサは、サイト定義アイテムに割り当てられた言語リゾルバーがあるか確認します。これは、"Language Resolver" フィールドの値を確認することによって行われます。値が指定されている場合、プロセッサは対応する言語リゾルバーを使用します。

言語リゾルバーが指定されていない場合、サイトの定義アイテムの "Default Language" フィールドの値が使用されます。このフィールドでも値が指定されていない場合は、Sitecore はコンテキスト言語を使用します。

言語リゾルバーの設定方法についての追加情報は、セクション 5.6 を参照してください。

5.5.2 ミラー アイテム Path を生成する

ミラー アイテムは存在しない場合があります。このプロセッサは、クローラー プロバイダーのメソッド "GetPagePaths" を使用してミラー アイテムが必要な場所を判定します。

5.5.3 クローリング ページのフィルタリング

サイト定義アイテムは、クローラーのルート URL を定義します。ただし、クローラー自体はルート外部の URL を使用する場合があります。このプロセッサは、ミラー アイテムがルート URL 配下の URL のみを対象に作成されることを確実にします。

5.5.4 クローリング ルールを実行する

ミラー アイテムの作成はクローリング ルールによってコントロールされます。プロセッサ "RunCrawlingRule" はクローリング ルールを実行する役割があります。

クローリング ルールの設定方法については、セクション 5.8 を参照してください。

5.6 ミラー アイテム

ミラー アイテムは、Sitecore 内で外部 web ページを表します。トラッキングおよびパーソナライゼーションは、このアイテム上で設定できます。

5.6.1 ミラー アイテムを定義する

ミラー アイテムはページ クローリング プロセス中に作成されます。使用されるテンプレートは、サイト用に設定されるテンプレート定義ルールに基づきます。ただし、これらのルールはオプションです。

テンプレート定義ルールが適用されていない場合、または指定されていない場合は、ミラー アイテムはテンプレート /sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/External Page に基づきます。

5.6.2 テンプレート: 外部ページ

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名

説明

フィールド名	説明
Path	外部ページの path です。この値は、クローリング プロセス中に設定されます。
Web Tracking Rules	トラッキング リクエストが処理された場合に適用される Web トラッキング ルールです。 詳細については、セクション 4.1.2 を参照してください。
Tracking Settings	トラッキング リクエストが処理された場合に使用されるトラッキング設定です。 詳細については、セクション 4.2.3 を参照してください。
Placeholder Selectors	プレースホルダーを設定します。 詳細については、セクション 7.2 を参照してください。

5.7 言語リゾルバー

言語リゾルバーは、URL が対応する言語を判定するために URL を解析します。言語リゾルバーを使用することによって、ひとつの Sitecore アイテムを複数の URL に対応させ、同じコンテンツを様々な言語で表示することができます。

5.7.1 言語リゾルバーを指定する

各サイト定義アイテムは、それぞれ割り当てられた言語リゾルバーを持つ場合があります。ひとつの言語リゾルバーが複数のサイト定義アイテムに割り当てられる場合があります。

5.7.2 言語リゾルバーを定義する

各言語リゾルバーは、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Web/Language Resolvers 配下で定義された Sitecore アイテムによって表されます。

Federated Experience Manager には 2 つの言語リゾルバーがあります。各言語リゾルバーは独自の設定オプションをサポートするために固有のテンプレートを持ちます。これらのテンプレートは、/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/Language Resolvers 配下で定義されます。

5.7.3 テンプレート: QueryString Resolver

この言語リゾルバーは、URL のクエリ文字列の値から言語を判定することができます。

このタイプの言語リゾルバーは、テンプレート/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/Language Resolvers/QueryStringResolver を使用して設定されます。

このテンプレートには設定可能な次のフィールドがあります。

フィールド名	説明	サンプル値
タイプ	言語リゾルバーを実装するタイプの完全修飾された名前です。この値を変更する必要はありません。	
LanguageMapping	key がクエリ文字列パラメーターの値であり、その値が Sitecore の言語アイテムの地域 ISO コードである key 値の組み合わせです。	fr fr-FR de de-DE
パラメーター	解析が必要な値を持つクエリ文字列のパラメーターのコンマ区切りのリストです。	lang,language

5.7.4 テンプレート: URL-Segment Resolver

この言語リゾルバーは URL のセグメントからの言語を判定することができます。

この言語リゾルバーは、URL セグメントの最初に言語コードが位置することを前提とします。たとえば、<http://www.your-company.com/fr/places> という URL の場合、リゾルバーは"fr" を言語コードとして使用します。

このタイプの言語リゾルバーは、テンプレート/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/Language Resolvers/URL Segment Resolver を使用して設定されます。

このテンプレートには次の設定可能なフィールドがあります。

フィールド名	説明	サンプル値
タイプ	言語リゾルバーを実装するタイプの完全修飾された名前です。この値を変更する必要はありません。	
LanguageMapping	key がクエリ文字列パラメーターの値であり、その値が Sitecore の言語アイテムの地域 ISO コードである key 値の組み合わせです。	fr fr-FR de de-DE

5.8 クローリング ルール

ページ クローリング プロセスはクローリング ルールによってコントロールされます。これらのルールによって、カスタム コードを使用することなくページ クローリング プロセスが要求通りに動作するように設定することができます。

クローリング ルールは、ミラー アイテムの作成プロセス中に実行されます。具体的には、config ファイル Sitecore.Fxm.Web.config で定義されるパイプライン "fxm.web.createMirrorItem" です。

5.8.1 クローリング ルールを指定する

各サイト定義アイテムには "Crawling Rules" フィールドがあります。このフィールドは、サイトで使用されるクローリング ルールを判定します。

各サイト定義アイテムは、それぞれ割り当てられた複数のクローリング ルールを持つ場合があります。クローリング ルールはサイト定義アイテム上で設定されるため、クローリング ルールが複数のサイトで使用されない場合があります。

5.8.2 条件とアクション

デフォルトでは次の条件とアクションが有効です。

分類	参照セクション
FXM Page	セクション 9.3
FXM Web Crawling	セクション 9.7

5.9 トラッキング設定ルール

ミラー アイテムが作成または更新された際に、ミラー アイテムのトラック方法を判定できる場合があります。たとえば、外部ページに商品ページとしてページを特定するメタ タグがある場合、ミラー アイテムに特定のプロファイル カードを割り当てることができます。トラッキング設定ルールを使用することによって、このようなトラッキングを設定することができます。

トラッキング設定ルールは、ミラー アイテムが作成または更新された場合に実行されます。具体的には、クローリング ルールで設定可能な "create or update mirror item" によって実行されます。

5.9.1 トラッキング設定ルールを指定する

各サイト定義アイテムには、"Tracking Configuration Rules" フィールドがあります。このフィールドはサイトで使用するトラッキング設定ルールを判定します。

各サイト定義アイテムは、それぞれ割り当てられた複数のトラッキング設定ルールを持つ場合があります。トラッキング設定ルールはサイト定義アイテムで設定されるため、トラッキング設定ルールが複数のサイトで使用されない場合があります。

5.9.2 条件とアクション

デフォルトでは次の条件とアクションが有効です。

分類	参照セクション
FXM Page	セクション 9.3
FXM Tracking Configuration	セクション 9.6

5.10 ページ クローリングとページ エディター

ページ固有のトラッキング オプションとパーソナライゼーションを設定するために、コンテンツ編集者はページ エディターを使用して外部サイトを移動することができます。

ページ エディターは Sitecore アイテムを表示します。したがって、コンテンツ編集者がページ エディター内で外部ページを確認するには外部ページのミラー アイテムが必要になります。このセクションでは、ページ エディター内からページ クローリング プロセスをトリガーする方法について説明します。

この機能はデフォルトで有効化されています。この機能の無効化方法については、セクション 6.3.1 を参照してください。

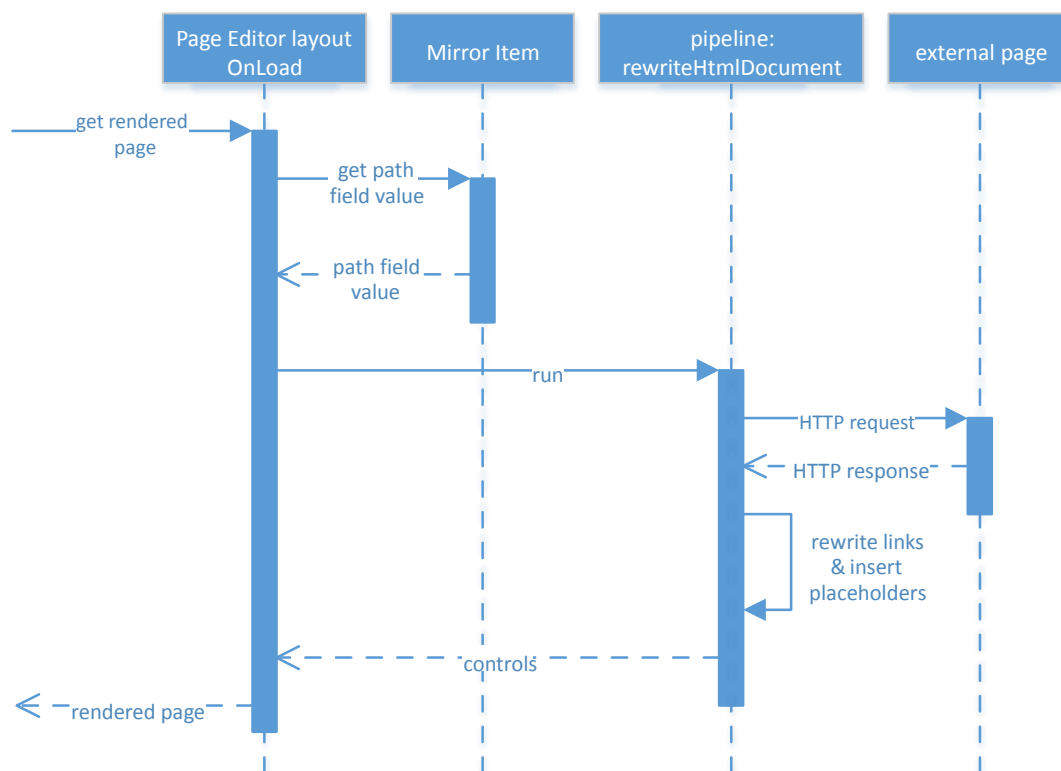
5.10.1 ページ エディター レイアウト

すべてのミラー アイテムには、デフォルト デバイスに割り当てられたレイアウト

/sitecore/layout/Layouts/Federated Experience

Manager/Page Editor があります。このレイアウトは、ページ エディター内で外部ページを表示するために必

要なプロセスをコントロールします。次のシーケンス図はこのプロセスを示したものです。



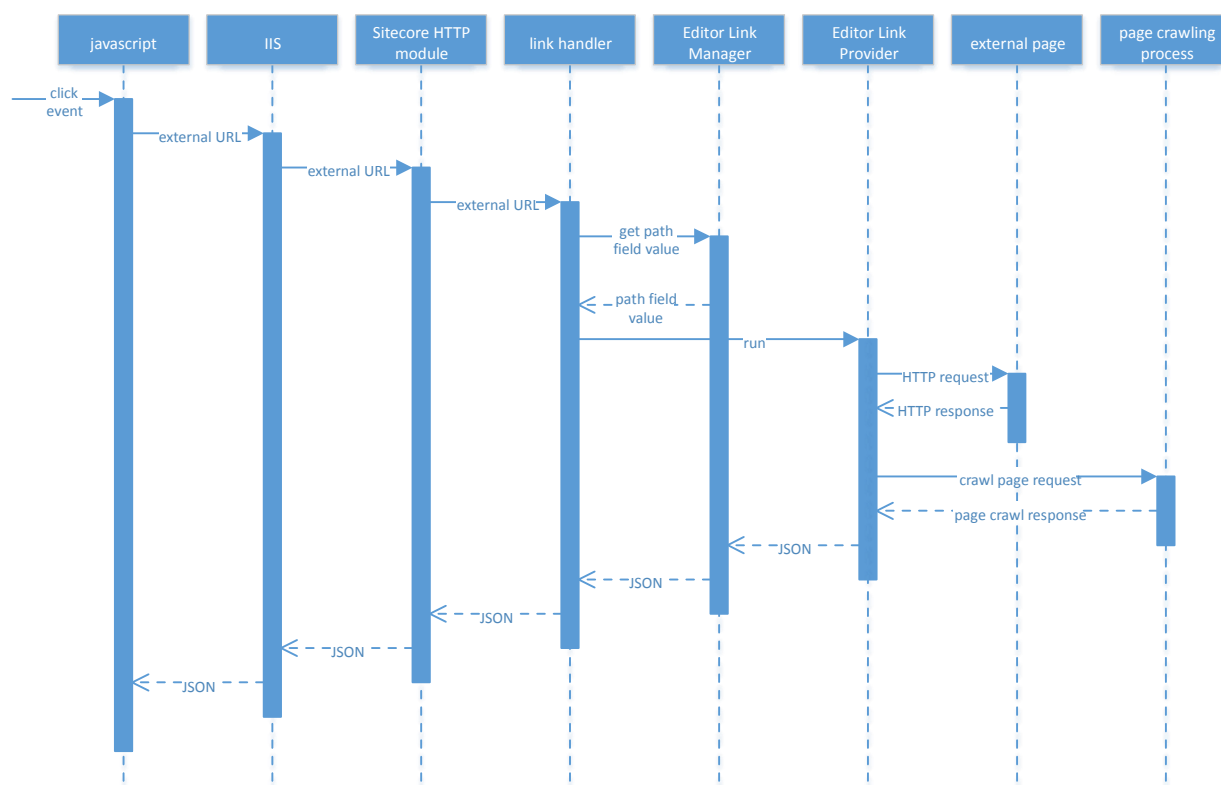
5.10.2 リンクの手換え

ページ エディターで外部ページが表示される場合、その外部ページには外部サイト上の別のページに移動するリンクが含まれる傾向があります。コンテンツ編集者がこのリンクをクリックしてもページ エディター内に留まるように、これらのリンクを手換える必要があります。

リンクの手換えはパイプライン `rewriteHtmlDocument` によって処理されます。具体的には、プロセッサ `Sitecore.Fxm.Web.Pipelines.RewriteHtmlDocument.RewriteHyperlinks` によって処理されます。

リンクの手換えロジックにおける重要事項は、リンクがクリックされた場合の動作を変更する jQuery コードを挿入することです。カスタムの HTTP ハンドラーの呼び出しが追加されます。このハンドラーはリンク ハンドラーと呼ばれ、リンクのミラー アイテムが存在することを確認します。

次のシーケンス図は、このプロセスについて示したものです。



5.11 ページ クローリングと外部ページ ビュー

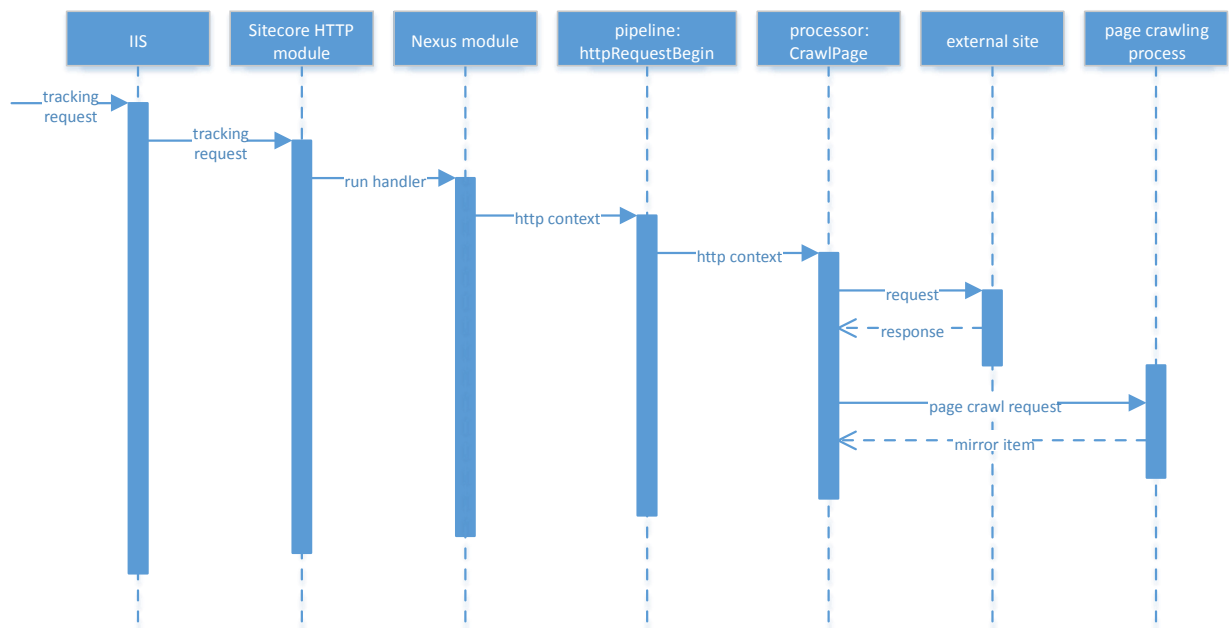
外部ページ ビューがページ クローリング プロセスをトリガーするように、Federated Experience Manager を設定することができます。このことを ad hoc ミラー アイテムの作成と呼びます。

この機能はデフォルトで無効化されています。この機能の有効化方法については、セクション 6.4.1 を参照してください。

ad hoc ミラー アイテムの作成が有効化されている場合、ページ クローリング プロセスはトラッキング リクエストによってトリガーされます。セクション 3.1 の説明にあるように、トラッキング リクエストは標準の Sitecore リクエストの処理プロセスによって処理されるリクエストです。

Federated Experience Manager は、標準のリクエスト処理プロセスにひとつ手順を追加します。プロセッサはリクエストがトラッキング リクエストの場合にのみ開始します。この場合、外部サイトにリクエストを送信し、レスポンスを使用してページ クローリング プロセスをトリガーします。

次のシーケンス図は、ad hoc ミラー アイテムの作成が有効化されている場合における、トラッキング リクエストのリクエスト処理プロセスについて示したものです。



Chapter 6 クローリング プロセスを実行する

この章では、クローリング プロセスを開始、停止、管理するために有効な様々なオプションについて説明します。

クローリング プロセスの動作方法および設定方法についての詳細は Chapter 5 を参照してください。

6.1 オプションの比較

次の表は、web サイトのクローリング プロセスを実行するための様々なオプションについて比較したものです。

要件	大容量	手動	Ad Hoc
	Website Crawler	Page Editor	Page View
コンテンツ編集者が手動で選択したページのみトラックします。		✓	
ルールを使用してページをトラックするかどうか指定します。	✓	✓	✓
訪問者によって表示されたページのみトラックします。			✓
多数のページをトラックします。	✓		
コンテンツ デリバリー (CD) 環境でプロセスを最小化します。	✓		
自動でページにプロファイリング/ゴール/ページ イベントを割り当てます。	✓	✓	✓
手動でページにプロファイリング/ゴール/ページ イベントを割り当てます。	✓	✓	
ページにパーソナライゼーションを適用します。	✓	✓	
外部サイト上でのアクティビティがコンテンツ マネージメント (CM) 環境に影響を与えることはできません。	✓	✓	
コンテンツ デリバリー環境 (CD) にはコンテンツ マネージメント (CM) サーバーへのアクセスがありません。	✓	✓	

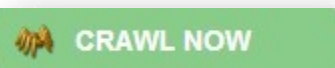
6.2 大容量のミラー アイテムの作成

大容量のミラー アイテムの作成は web サイトのクローリング プロセスを実行させます。Web サイトのクローリング プロセスについては、Chapter 5 を参照してください。

6.2.1 手動でプロセスを開始する


Web サイト クローリング プロセスを開始するには、次の手順に従います。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/Content/Federated Experience Manager に移動します。
2. [Web Crawler] タブを選択します。
3. 開始するプロセスを示す列を見つけます。
4. [CRAWL NOW] をクリックします。



6.2.2 プロセスを監視する

Web サイトのクローリング プロセスは、アイテム /sitecore/content/Federated Experience Manager の [Web Crawler] タブ を使用して監視することができます。

Crawlers History						
Website	Start Date	End Date	Crawled Pages	Saved Pages	Result	
large-site	4/9/2014 1:04:38 PM	-	111	107	Running	

メモ:

クローリングされたページ数と保存されたページ数が一致するとは限りません。クローリングされたページは、クローラーが外部サイトに作成したリクエストの合計数です。すべてのリクエストがアイテムとして保存されるわけではありません。

たとえば、外部サイト アイテムもミラー アイテムです。クローリング プロセス中にアイテムが変更されることはないため、アイテムは保存されません。これはクローリングされたけれど保存はされなかったページです。

6.2.3 手動でプロセスを停止する

web サイト クローリング プロセスを停止するには、次の方法に従います。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/Content/Federated Experience Manager に移動します。
2. [Web Crawler] タブを選択します。
3. 停止するプロセスを表す列を見つけます。
4. [STOP CRAWL] をクリックします。



6.2.4 プログラムでプロセスを開始する

クローリング マネージャーは web サイトのクローリング プロセスを開始するために使用されます。次のコードは使用方法について示したものです。

```
var item = ... //get the site definition item
var runningFromScheduler = false; //this determines whether errors are displayed
    //false means errors are displayed via popup
    //true means errors are not displayed
Sitecore.Fxm.Web.Crawler.CrawlerManager.RunCrawlerJobFor(item, runningFromScheduler);
```

6.2.5 プロセスのスケジューリング

Web サイト クローリング プロセスをスケジューリングする必要がある場合、セクション 6.2.4 のコードを使用してタスクを作成することができます。

以下は、タスクを実装するクラスの例です。

```
using System;
using System.Collections.Generic; using
System.Linq; using System.Web; using
Sitecore.Data;
using Sitecore.Fxm.Web.Crawler; using
Sitecore.SecurityModel;

namespace Testing.Fxm
{
    public class WebsiteCrawlTask
    {
        public WebsiteCrawlTask(string databaseName, string siteDefItemId)
        {
            this.Database = Database.GetDatabase(databaseName);
            this.ID = ID.Parse(siteDefItemId);
        }
        public Database Database { get; private set; }
        public ID ID { get; private set; }

        public void Run()
        {
            using (new SecurityDisabler())
            {
                var item = this.Database.GetItem(this.ID);
                CrawlerManager.RunCrawlerJobFor(item, true);
            }
        }
    }
}
```

以下は、Sitecore にタスクを指示するために必要な設定の例です。

```
<configuration xmlns:patch="http://www.sitecore.net/xmlconfig/">
  <sitecore>
    <scheduling>
      <agent type="Testing.Fxm.WebsiteCrawlTask, Testing.Fxm" method="Run"
interval="00:01:00">
        <param desc="database name">master</param>
        <param desc="site definition item ID">{6652CD1D-6474-3098-ADDA-
261F32BDC69C}</param>
      </agent>
    </scheduling>
  </sitecore>
</configuration>
```

6.3 手動によるミラー アイテムの作成

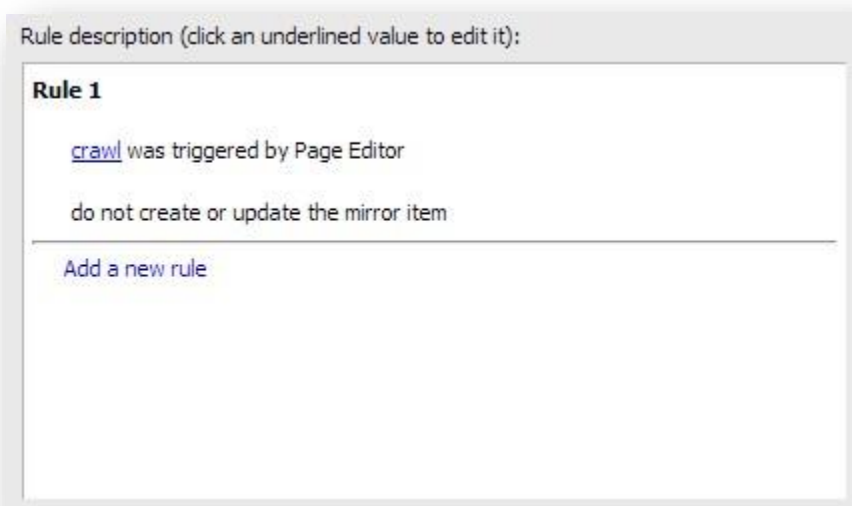
手動によるミラー アイテムの作成はページ エディターを使用して行います。この機能が有効化されている場合、ページ エディター内で外部サイトを移動することによってミラー アイテムの作成プロセスがトリガーされます。このプロセスについては セクション 5.10 を参照してください。

手動によるミラー アイテムの作成はデフォルトで有効化されています。

6.3.1 無効化

手動によるミラー アイテムの作成を無効化するには、サイト定義アイテムでクローリング ルール設定を変更する必要があります。

次は手動によるミラー アイテムの作成を無効化するルールの一例です。



6.4 Ad Hoc ミラー アイテムの作成

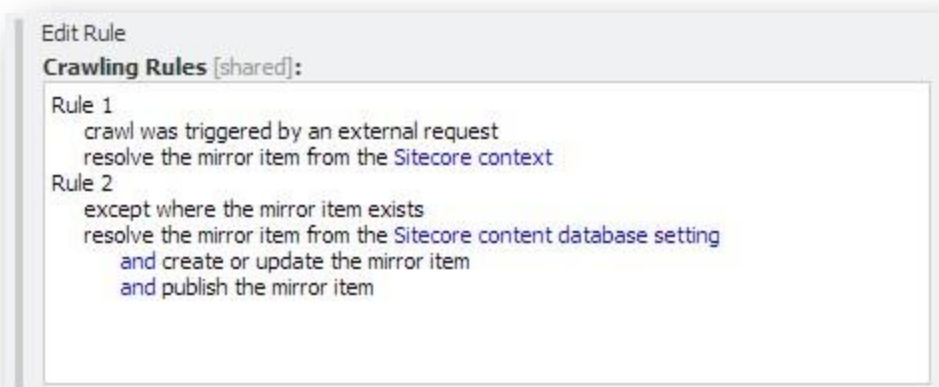
Ad hoc ミラー アイテムの作成は表示された外部ページの結果です。この機能が有効化されている場合、外部ページを表示することによってミラー アイテムの作成プロセスがトリガーされます。このプロセスについてはセクション 5.11 を参照してください。

Ad hoc ミラー アイテムの作成はデフォルトで無効化されています。

6.4.1 有効化

Ad hoc ミラー アイテムの作成を有効化するには、サイト定義アイテムでクローリング ルール設定を変更する必要があります。

次は ad hoc ミラー アイテムの作成を有効化するルールの一例です。



Chapter 7 外部ページのパーソナライゼーション

この章では、Sitecore で管理されているパーソナライズされたコンテンツを非 Sitecore ページに挿入する方法について説明します。

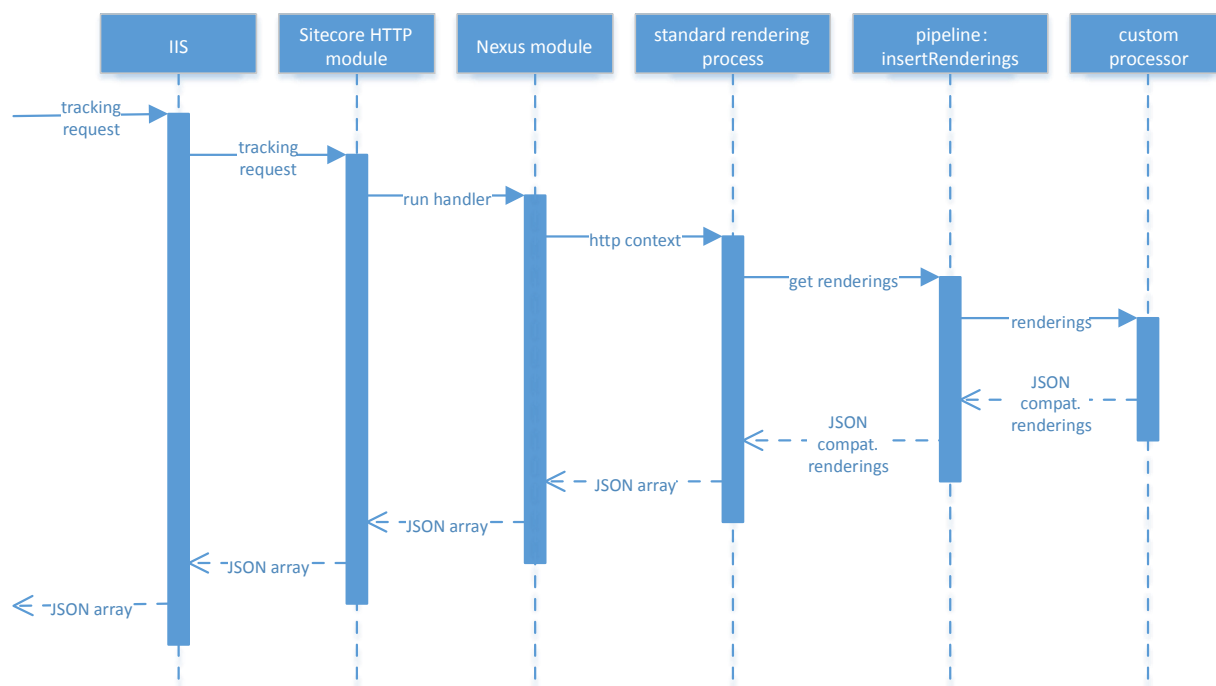
7.1 パーソナライゼーション プロセス

Federated Experience Manager は標準の Sitecore レンダリング プロセスを使用して、外部ページ用のパーソナライズされたコンテンツと、そのコンテンツを外部ページに挿入するための jQuery を生成します。

トラッキング リクエストはミラー アイテム用のリクエストです。トラッキング リクエストが処理された場合、標準の Sitecore レンダリング プロセスが開始されます。

ミラー アイテムには他の Sitecore アイテムと同じ様に設定されたレイアウト詳細があります。ほとんどの Sitecore アイテムは完全な HTML 文書を生成するレイアウトを使用しますが、ミラー アイテムで使用されるレイアウトは完全な HTML 文書を生成しません。これは、レンダリングされたミラー アイテムは外部ページに挿入されるコンテンツ ブロックの集まりであるためです。ミラー アイテムで使用されるレイアウトは、生成される JSON オブジェクトの配列になります。

各 JSON オブジェクトは、外部ページに挿入するパーソナライズされたコンテンツを表します。つまり、各 JSON オブジェクトはレンダリングされた Sitecore レンダリングを表し、外部ページのどこにレンダリングされたコンテンツを挿入するかについての情報を提供します。jQuery はコンテンツを適切な位置に挿入するために使用されます。次のシーケンス図はそのプロセスについて示したものです。



7.1.1 Sitecore レンダリングの互換性

Sitecore レンダリングには Federated Experience Manager と互換性を持たせるために必要とされる要件は特にありませんが、特定のレンダリングの互換性を確実にするためにパーソナライゼーション プロセスについて理解しておく必要があります。

セクション 7.1 の説明にあるように、外部ページに挿入されるパーソナライズされたコンテンツは JSON オブジェクトの配列として提供されます。レンダリング プロセスには、パーソナライズされたコンテンツを配列に変換する手順が含まれます。JSON 配列の各要素は特定のレンダリングの出力を表します。

プロセッサ "JsonRenderingsProcessor" は、パイプライン "insertRenderings" に追加されます。これは各レンダリングを JSON オブジェクトとしてレンダリングする新しいコントロールに変換します。

JSON コントロールがレンダリングされた場合、オリジナル レンダリングからの出力を取得してメソッド `System.Web.HttpUtility.HtmlEncode(string)` から開始し、その結果を JSON オブジェクトのプロパティ値に設定します。

したがって、出力に JSON オブジェクトのプロパティ値として設定できない値が含まれる場合、そのレンダリングは Federated Experience Manager に対応していないと判断されます。

7.1.2 互換性のないレンダリングに互換性を持たせる

プロセッサ "JsonRenderingsProcessor" は、レンダリングを様々な種類のコントロールに変換します。レンダリングが変換される種類は、プロセッサ設定で指定されたパラメーターによって判定されます(この設定は、config ファイル `Sitecore.Fxm.Web.config` で指定されます)。

使用中のレンダリングがデフォルト タイプで JSON に正しく変換されていない場合はタイプを変更することができます。これによって JSON オブジェクトの作成方法をコントロール可能なカスタム コントロールを作成できます。

カスタム コントロールは `Sitecore.Fxm.Web.Controls.ControlWrapperBase` タイプから継承する必要があります。

返す JSON オブジェクトには以下のプロパティが必要です。

プロパティ名	説明	サンプル値
PlaceholderID	プレースホルダーID	contentArea
Selector	パーソナライズされたコンテンツの挿入場所に配置される jQuery セレクター。	#contentArea
RenderType	パーソナライズされたコンテンツをページに挿入する方法を指定します (つまり、セレクターによって指定された要素の前、要素の後に挿入、	以下のいずれかの値 : <ul style="list-style-type: none"> • Instead • Before

	または要素を置換える必要があることを指定します)。	<ul style="list-style-type: none"> After
PlaceholderContent	挿入される HTML コード化されたコンテンツ。	<pre>&lt;p style=&quot;color: black; background-color: yellow; padding: 10px; background-position: initial initial; background-repeat: initial initial;&quot;&gt;This is content managed by Sitecore.&lt;/p&gt;</pre>

次はレンダリングを表す JSON オブジェクトの一例です。

```
{
  "PlaceholderID": "contentarea",
  "Selector": "#contentArea",
  "RenderType": "Instead",
  "PlaceholderContent": "&lt;p style=&quot;color: black; background-color: yellow; padding: 10px; background-position: initial initial; background-repeat: initial initial;&quot;&gt;This is content managed by Sitecore.&lt;/p&gt;" }
```

7.2 プレースホルダー セレクター

パーソナライゼーションはページ エディターを使用して設定されます。Federated Experience Manager を使用することによって、コンテンツ編集者はページ エディターを使用して外部ページをパーソナライズすることができます。これを実現するには、外部ページにおける Sitecore プレースホルダーの挿入場所を指定します。

プレースホルダー セレクターは Sitecore プレースホルダーの挿入場所を指定するために使用されます。プレースホルダー セレクターはコンテンツ エディターまたはページ エディターを使用して設定することができます。

ページ エディターにおける外部ページの表示方法についてのプロセスは、セクション 5.10.1 に記載されています。このプロセスの別の一貫として、ミラー アイテムのプレースホルダー セレクターを特定します。

プレースホルダー セレクターを指定するプロセスは、パイプライン `rewriteHtmlDocument` に実装されています。具体的には、プロセッサ

`Sitecore.Fxm.Web.Pipelines.RewriteHtmlDocument.ResolvePlaceholders` です。

このプロセッサはミラー プロバイダーを使用し、特定のミラー アイテムに適したプレースホルダー セレクターを判定します。デフォルトではミラー アイテムに割り当てられたプレースホルダー セレクターのみが使用されます。

7.2.1 プレースホルダー セレクターを指定する

各ミラー アイテムには割り当てられたプレースホルダー セレクターが 0 または複数あります。ひとつのプレースホルダー セレクターが複数のミラー アイテムに割り当てられる場合があります。

7.2.2 プレースホルダー セレクターを定義する

各プレースホルダー セレクターは、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Web/Placeholder Selectors 配下で定義された Sitecore アイテムによって表されます。

プレースホルダー セレクター アイテムは、テンプレート /sitecore/templates/Federated Experience Manager/Web/PlaceholderSelector に基づきます。

7.2.3 テンプレート: プレースホルダー セレクター

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名	説明
プレースホルダー	プレースホルダーの名前です。この値はプレースホルダー設定を使用する計画がある場合にのみ考慮します。
Selector	プレースホルダーを表示する外部ページ上の位置です。jQuery セレクター表記を使用する必要があります。jQuery セレクター表記についての追加情報は、下記リンクより jQuery ドキュメントを参照してください。 http://api.jquery.com/category/selectors

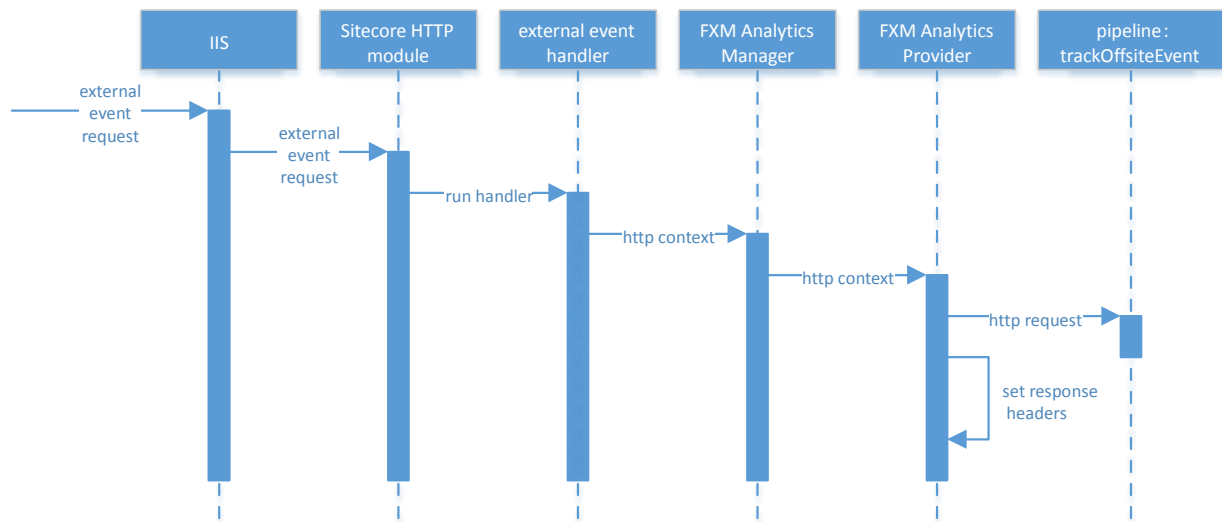
Chapter 8 外部アプリケーション トラッキング

この章では、外部アプリケーションのアクティビティを Sitecore に登録する web ベース API について説明します。

8.1 トラッキング プロセス

Federated Experience Manager は、外部アプリケーションからのトラッキング リクエストを許可するカスタムの HTTP ハンドラーを含みます。このハンドラーはリクエストを処理するために、Federated Experience Manager アナリティクス プロバイダーを使用します。このプロバイダーは、パイプライン "trackOffsiteEvent" を使用してリクエストを処理します。

次のシーケンス図は、オフサイトのトラッキング パイプラインの起動方法について示したものです。



オフサイト トラッキング パイプラインは、リクエストをトラックする必要があるかどうか判別し、トラックする必要がある場合はそのリクエストをトラック可能な値に変換する役割があります。

8.1.1 アナリティクス マネージャー

アナリティクス マネージャーの "ProcessHandlerRequest" メソッドは、アナリティクス プロバイダーで同様の名前を持つメソッドを呼び出します。

8.1.2 アナリティクス プロバイダー

アナリティクス プロバイダーの "ProcessHandlerRequest" メソッドは、config ファイルで定義されたパイプライン "fxm.analytics.trackOffsiteEvent" を開始します。

8.1.3 パイプライン: fxm.analytics.trackOffsiteEvent

このパイプラインは、外部アプリケーション リクエスト処理プロセスをコントロールする役割があります。

このパイプラインのプロセッサは、クラス

Sitecore.Fxm.Analytics.Pipelines.TrackEvent.TrackOffsiteEventProcessor から継承する必要があります。

8.2 外部アプリケーション

外部アプリケーションは、外部アプリケーションのトラッキング プロセスによってアクティビティがトラックされるシステムです。外部アプリケーションのトラッキング リクエストが受信された場合、Federated Experience Manager はリクエストを送信している外部アプリケーションを解決します。

Federated Experience Manager は外部 web アプリケーションをサポートします。

8.2.1 外部 Web アプリケーションを定義する

Sitecore 内で、外部アプリケーションは /sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/External Applications 配下で定義される Sitecore アイテムによって表されます。

外部 web アプリケーションの定義アイテムは、/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Analytics/External Web Application テンプレートに基づきます。

8.2.2 テンプレート: 外部 Web アプリケーション

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名	説明
HostName	トラッキング リクエストが処理された場合、手順の一環としてリクエスト元の外部アプリケーションが判定されます。この値は、外部アプリケーションを解決するプロセスで使用されます。
ParametersRender	外部アプリケーションは、様々な方法で Federated Experience manager にデータを渡します。各外部アプリケーションの定義アイテムには "Parameters Reader" というフィールドがあります。パラメーター リーダーについての追加情報は、セクション 8.4 を参照してください。

8.2.3 外部アプリケーションの使用

外部アプリケーションの定義アイテムは外部アプリケーションの設定アイテムに割り当てられます。これによって、同じ設定を使用して複数の外部アプリケーションを処理することができます (たとえば、複数の外部 web アプリケーションや、複数のホスト名を使用した単一の web アプリケーションなど) 外部アプリケーションの設定アイテムについてはセクション 8.3 を参照してください。

8.3 外部アプリケーション設定

外部アプリケーション設定は、外部アプリケーションのトラッキング リクエストからのデータの処理方法を指定します。

8.3.1 外部アプリケーション設定を定義する

Sitecore 内で、各外部アプリケーション設定は、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/External Application Configurations 配下で定義される Sitecore アイテムによって表されます。

外部アプリケーション設定の定義アイテムは、テンプレート/sitecore/templates/Federated Experience Manager/Analytics/External Application Configuration に基づきます。

8.3.2 テンプレート: 外部アプリケーション設定

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名	説明
ExternalApplications	設定を適用する外部アプリケーションです。
設定	外部アプリケーションのトラッキング リクエストからのデータの処理方法を判定するルールです。

8.4 パラメーター リーダー

パラメーター リーダーは、外部アプリケーションのトラッキング リクエストからのデータを読み込み、そのデータをパラメーターとしてトラッキング プロセスに提供する役割があります。

8.4.1 パラメーター リーダーを指定する

各外部アプリケーション アイテムは、それぞれ割り当てられたサイト パラメーター リーダーを持つ場合があります。ひとつのパラメーター リーダーが複数の外部アプリケーションに割り当てられる場合があります。

8.4.2 パラメーター リーダーを定義する

各パラメーター リーダーは、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/Parameters Readers 配下で定義される Sitecore アイテムによって表されます。

パラメーター リーダーの定義アイテムは、テンプレート /sitecore/templates/Federated Experience Manager/Analytics/ParametersReader に基づきます。

メモ:

Federated Experience Manager には 2 つのパラメーター リーダーがあります。これらのパラメーター リーダーの定義アイテムは、Federated Experience Manager と一緒に含まれます。カスタムのパラメーターを作成した場合にのみ、その新しいパラメーターを定義する必要があります。カスタムのパラメーター リーダーの実装方法についての追加情報は、『Federated Experience Manager Developer's Guide』を参照してください。

8.4.3 テンプレート:パラメーター リーダー

このセクションでは、テンプレート上のフィールドについて説明します。

フィールド名

説明

タイプ	説明
	パラメーター リーダーを実装するタイプの完全修飾名です。

8.4.4 パラメーター リーダー: Form Reader

Form Reader は、外部アプリケーションのトラッキング リクエストの一部として送信されるフォーム データをパラメーターの集まりに変換します。

このリーダーは、フォーム データが System.Collections.Generic.Dictionary<string, object> インスタンスに非直列化可能な JSON オブジェクトであることを想定します。次はこのリーダーが要求するデータの一例です。

```
{"buttonName": "a1", "text2": "The second event"}:
```

8.4.5 パラメーター リーダー: Query String Reader

Query String Reader は、外部アプリケーションのトラッキング リクエストのクエリ文字列からパラメーターを読み込みます。

8.4.6 パラメーター リーダー: Query String と Form Reader

Query String と Form Reader は両方の機能を結合します。パラメーターは、フォーム データと外部アプリケーションのトラッキング リクエストのクエリ文字列の両方から読み込まれます。

8.5 設定ルール

設定ルールによって、外部アプリケーションのトラッキング リクエストのデータが処理されるかどうか、またその処理方法が判定されます。各外部アプリケーション設定の定義アイテムには [設定] というフィールドがあります。このフィールドに設定ルールを指定します。

8.5.1 設定ルールを指定する

各外部アプリケーションの設定アイテムには [設定] フィールドがあります。このフィールドは、外部アプリケーションの設定アイテムに割り当てられた外部アプリケーションで使用する設定ルールを判定します。

各外部アプリケーションの設定アイテムは、それぞれ割り当てられた複数の設定ルールを持つ場合があります。構成ルールは外部アプリケーションの設定アイテムに設定されるため、ひとつの構成ルールが複数の外部アプリケーションの設定アイテムでは使用されない場合があります。

8.5.2 条件とアクション

デフォルトでは次の条件とアクションが有効です。

分類	参照セクション
FXM Analytics	セクション 9.1
FXM Analytics	セクション 9.3

8.6 イベント パーサー

イベント パーサーを使用することによって、外部アプリケーションのトラッキング リクエストのデータを Sitecore に登録されるページ イベントまたはゴールに含むことができます。たとえば、要求が行われたことが外部アプリケーションによって Sitecore に通知された場合、その要求の値をレコードすることができます。

8.6.1 イベント パーサーを指定する

イベント パーサーは、外部アプリケーションの設定アイテム用の設定ルールで指定されます。ひとつのイベント パーサーが複数のルールで使用される場合があります。

8.6.2 単一イベント パーサー

単一イベント パーサーは、ルール コンテキストに設定されたデータを使用して、ひとつのページ イベントまたはゴールをレコードします。

Federated Experience Manager にはひとつのイベント パーサーが実装されています。タイプは Sitecore.Fxm.Analytics.Parsers.SimpleSingleParser です。このパーサーは、以下の値をレコードするページ イベントに設定します。

ルール コンテキスト パラメーター名	レコードされたページ/ゴールのフィールド
dataKey	DataKey
data	Data
text	Text

8.6.3 単一イベント パーサーを使用してルールを設定する

次の手順を使用して、単一イベント パーサーを設定し、DataKey 値が任意値であるページ イベントをレコードする方法について説明します。

1. コンテンツ エディターで、/sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/Parameter Parsers に移動します。
2. テンプレート "Single Event Parser" を使用して新しいアイテムを追加します。アイテムの名前を "Sample Single Event Parser" に設定します。
3. フィールド [Type] に以下の値を入力します。
Sitecore.Fxm.Analytics.Parsers.SimpleSingleParser,
Sitecore.Fxm.Analytics
4. アイテムを保存します。
5. アイテムをパブリッシュします。

6. /sitecore/system/Modules/Federated Experience Manager/Analytics/External Application Configurations 配下の外部アプリケーションの設定アイテムを選択します。
7. フィールド [設定] を編集します。
8. 次の条件を追加します。
 - a. **セクション:** Fxm Analytics
 - b. **条件 :** where the specific parameter names parameters are not empty

Rule 1

[where](#) the [specific parameter names](#) parameters are not empty

[Add a new rule](#)

9. "specific parameter names" 変数を "buttonName" に設定します。

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

[Add a new rule](#)

10. 次のアクションを追加します。
 - a. **セクション:** Fxm Analytics
 - b. **アクション:** set the value of the specific parameter to value

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

set the value of the [specific](#) parameter to [value](#)

[Add a new rule](#)

11. "specific" 変数を "dataKey" に設定します。使用しようとしている単一イベント パーサー タイプは、この名前を持つパラメーターを想定してハード コードされています。

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

set the value of the [dataKey](#) parameter to [value](#)

[Add a new rule](#)

12. "value" 変数を "my datakey value" に設定します。使用しようとしている単一イベント パーサー タイプはこの値を取得し、レコードされるページ イベントの DataKey フィールドを設定します。

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

set the value of the [dataKey](#) parameter to [my datakey value](#)

[Add a new rule](#)

13. 次のアクションを追加します。

- a. **セクション:** Fxm Analytics
- b. **アクション:** track the specific page event using the specific event parser

Rule 1

[where](#) the [buttonName](#) parameters are not empty

set the value of the [dataKey](#) parameter to [my data key](#)

[and](#) track the [specific](#) page event using the [specific](#) single event parser

[Add a new rule](#)

14. "specific" ページ イベントの変数をセクション 2.4.2 で作成したページ イベント アイテムに設定します。

```
Rule 1
where the buttonName parameters are not empty
set the value of the dataKey parameter to my data key
and track the External Event page event using the specific single event parser
Add a new rule
```

15. "specific" 単一イベント パーサーの変数を単一のイベント パーサーの定義アイテムに設定します。

```
Rule 1
where the buttonName parameters are not empty
set the value of the dataKey parameter to my data key
and track the External Event page event using the Sample Single Event Parser single event parser
Add a new rule
```

16. [OK] をクリックしてルールを保存します。

17. アイテムを保存します。

18. アイテムをパブリッシュします。

8.6.4 マルチ イベント パーサー

マルチ イベント パーサーを使用することによって、複数のページ イベントとゴールをレコードすることができます。マルチ イベント パーサーの実装は、レコードするページ イベントを判定する必要があります。

Federated Experience Manager には、このタイプのイベント パーサーのサンプル実装は含まれません。

8.7 トラッキング リクエストがトリガーされた Javascript

Federated Experience Manager には Javascript API が含まれます。この API は、外部 web アプリケーションで外部アプリケーションのトラッキング リクエストを作成する最も簡単な方法です。

8.7.1 Client.js

Javascript API は、Sitecore サーバーにあるスクリプトで定義されます。このスクリプトの Path は、/Fxm/Analytics/js/Client.js です。

外部アプリケーションのトラッキング リクエストを作成する必要がある任意の web ページに、このスクリプトのリンクを追加します。

8.7.2 変数: `_scFxmAnalytics`

Client.js は "`_scFxmAnalytics`" という名前のグローバル変数を追加します。この変数は Sitecore サーバーに送信される命令を表す配列です。命令の一種が外部アプリケーションのトラッキング リクエストです。

トラッキング命令は "push" メソッドを使用して配列に追加されます。次のコードは、この配列に命令を追加する方法について示したものです。

```
_scFxmAnalytics.push(['_trackEvent', {key1: 'value1',key2: 'value2'}, 5000]);
```

配列に渡される命令は、受信したとおりに処理されます。

8.7.3 トラッキング命令

トラッキング命令オブジェクトは、実行が必要な Javascript 機能を表す Javascript オブジェクトです。各トラッキング命令オブジェクトは、ひとつ以上の値の配列です。配列の最初のメンバーは機能名です。配列の残りのメンバーはパラメーターを表します。

次の命令がサポートされています。

機能名	Arguments	説明
<code>_trackEvent</code>	データの遅延	データ引数は、Sitecore に転送されるデータを含む JSON オブジェクトです。このデータは、外部アプリケーションのトラッキングプロセスで有効です。 引数の延期期間は、 <code>_trackEvent</code> コマンドが実行されるまでに要する所要時間を指定します (ミリ秒)。
<code>_trackPageview</code>	(なし)	<code>_trackEvent</code> と似ていますが、これはクエリ文字列データをパラメーターとして送信します。
<code>_setDomain</code>	ドメイン	ドメイン バリューは Sitecore サーバーのホスト名です。 この命令が必ず最初に送信される命令です。
<code>_setTimeout</code>	タイムアウト	トラッキング リクエストのタイムアウトを設定します(ミリ秒)。
<code>_setHandler</code>	ハンドラー	ハンドラーは、 <code>_setDomain</code> 命令によって指定されるサーバー上のリクエスト ハンドラーをトラッキングするための path です。 ハンドラーはデフォルト値を持つため、指定する必要はありません。

<code>_override</code>	オブジェクト	この命令によって SitecoreFxmAnalytics オブジェクトのメソッドを無視することができます。
------------------------	--------	--

8.7.4 イベント トラッキング リクエストのキャンセルを回避する

イベント トラッキングは Sitecore にデータを送信します。これは、JavaScript からリクエストを送信するブラウザの機能を使用して行います。ブラウザでイベント トラッキング リクエストがキャンセルされた場合に問題が発生する可能性があります。

この問題は、たとえばフォーム上の送信ボタンにイベント トラッキングを追加した場合に発生する可能性があります。イベント トラッキング リクエストは非同期的に実行されます。つまり、ブラウザはイベント トラッキングの応答を待つことなく引き続き送信ボタンの処理を行うことを意味します。

フォームを送信すると、ブラウザは新しいページをロードします。これによってイベント トラッキング リクエストがキャンセルされます。これを回避するには、コードにいくつかの予防策を実装する必要があります。これについては、次の例を使用して説明します。

例

次の HTML ページを使用して考えてみましょう。

```
<form id="search_form" action="/search-results" method="get">
  <input id="search" />
  <button type="submit">search</button> </form>
```

クリックされた検索ボタンをトラックとします。ただし、外部トラッキングの応答が受信されるまではフォームの送信を回避する必要があるため、次のコードをページに追加します。

```
<script src="//ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.11.1/jquery.min.js"></script>
<script type="text/javascript" src="//[sitecore host
name]/Fxm/Analytics/js/Client.js"></script>

<script type="text/javascript">
  var _scFxmAnalytics = _scFxmAnalytics || [];
  _scFxmAnalytics.push(['_setDomain', '[sitecore host name]']);
  $(document).ready(function() {
    $('#search_mini_form :submit').bind('click', function() {      event.preventDefault();
//prevent the form from being submitted      var term = $('#search').val();
      _scFxmAnalytics.push([
        '_trackEvent',
        {
          type: 'search',
          term: term,
          text:'search from search box: ' + term,
          onSuccess:submitForm //submit form after tracking
        }
      ]
    );
  });
});
```

```
    ]);  
    ;  
  });  
});  
function submitForm() {  
  $('#search_form').submit()  
}  
</script>
```

このソリューションには 2 つの本質があります。

1. **送信ボタンがクリックされた際にフォームが送信されることを回避します。**これは デフォルトのイベント処理 (フォームの送信) を回避するために、JavaScript を使用して実装されます。
2. **外部のトラッキング リクエストが処理された後にプログラムによってフォームを送信します。**FXM の JavaScript API は、トラッキング リクエストが処理された後にイベント ハンドラーを呼び出すことができます。これは、トラッキングの命令に含まれるデータの onSuccess プロパティを使用して実装されます。

FXM JavaScript API は "_trackEvent" 機能用のデータ パラメーターの次のイベント ハンドラーをサポートします。

- onSuccess - トラッキング リクエストが成功コードを返した場合に開始します。
- onError - トラッキング リクエストがエラー コードを返した場合に開始します。
- onComplete - トラッキング リクエストが返された場合に開始します。

メモ:

これらのイベント ハンドラーは、jQuery の AJAX コールバック オプション (success、error、complete) に似ています。ただしパフォーマンス上の理由により、FXM では Sitecore にデータを送信するために jQuery は使用されません。

8.7.5 タイプ: SitecoreFxmAnalytics

この Javascript タイプは、配列 "_scFxmAnalytics" に追加されたトラッキング命令を実行する役割があります。このタイプを直接呼び出すことはできません。その代わりに、トラッキング命令を使用します。

8.8 トラッキング リクエストがトリガーされた非 Javascript

Federated Experience Manager には、外部アプリケーションによるトラッキング リクエストの作成が可能な web サービスが含まれます。セクション 8.7 の説明にある Javascript API は、この web サービスを囲むラッパーです。

8.8.1 ExternalEventsListener URL

外部イベント リスナー サービスの URL は、
/FXM/Analytics/ExternalEventsListener.ashx です。

8.8.2 トラッキング リクエストを送信する

トラッキング リクエストを ExternalEventsListener に送信するために、リクエストを上記 URL に送信する必要があります。

トラッキング リクエストが HTTP メソッド GET を使用する場合、データはクエリ文字列から渡されます。トラッキング リクエストが HTTP メソッド POST を使用する場合は、データはフォーム データから渡されます。Federated Experience Manager は、パラメーター リーダーを使用してリクエストからのデータにアクセスします。パラメーター リーダーについての追加条件は、セクション 8.4 を参照してください。

8.8.3 外部サイトを解決する

Federated Experience Manager はリクエストの参照元ヘッダーを使用して外部サイトを解決します。したがって、参照元ヘッダーが適切に設定されていることが重要になります。

プロセッサ "ResolveUri" は、参照元ヘッダー値を使用して外部サイト アイテムを判定します。プロセッサ "ReadParameters" は外部サイト アイテムを使用して、使用するパラメーター リーダーを判定します。参照元ヘッダーが適切に設定されていない場合、このプロセスを想定通りに動作させることはできません。

Chapter 9 条件とアクション

この章では、Federated Experience Manager に含まれる条件とアクションについて説明します。

9.1 FXM Analytics

FXM アナリティクス ルールは、外部アプリケーションの設定を指定するために使用されます。外部アプリケーションについての追加情報は、セクション 8.2 を参照してください。

9.1.1 条件

このセクションでは、外部アプリケーションのトラッキング ルールを指定するために有効な条件について説明します。

名前	説明
Where Host Name Is	<p>トラッキング リクエストのホスト名が特定の値と一致するか判定します。</p> <p>(例) 条件 : ホスト名が "localhost.com" と "等しい" 場合</p>
Where Parameter Is	<p>トラッキング リクエストが特定の値と特定の名前を持つパラメーターを含むかどうか判定します。</p> <p>(例) 条件 : イベント パラメーターの値が "テレビジョン" と等しい" 場合</p>
Where Parameters Not Empty	<p>トラッキング リクエストが指定された名前を持つパラメーターを含むかどうか判定します。</p> <p>複数のパラメーター名はカンマ (,) またはパイプ記号 () によって区切られます。複数のパラメーターの名前が指定されている場合、それらすべてのパラメーターが値を持つ必要があります。</p> <p>(例) 条件 : "product type,price" パラメーターが空ではない場合</p>

9.1.2 アクション

このセクションでは、外部アプリケーションのトラッキング ルールを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Increase The Value Of The Visitor Profile Score	<p>訪問者のプロフィール スコアの値を増加させます。</p> <p>(例) "Building Trust" の訪問者のプロフィール スコアのバリューを "10" まで増加させる。</p>

Set Parameter	ルール コンテキストのパラメーターの値を設定します。 (例) "product type" パラメーターの値を "television" に設定する。
Track by Multi Event Parser	特定のマルチ イベント パーサー アイテムを選択します。
Track Event	特定のページ イベントをレコードし、ルール コンテキスト上に設定されたパラメーターの値を使用してページ イベントにデータを設定します。 (例) "Put in Basket" イベントをトラックし、"product type" パラメーターの DataKey 値と、"product name" パラメーターの Data 値と、"product description" パラメーターの Text 値を設定する。
Track Event By Parameter Parser	特定のページ イベントと特定のシングル イベント パーサーを選択します。
Track Goal	特定のゴールをレコードし、ルール コンテキストに設定されたパラメーターからの値を使用してゴールにデータを設定します。 (例) "Placed Order" ゴールをトラックし、"item count" パラメーターの DataKey 値と、"order total" パラメーターの Data 値と、"order description" パラメーターの Text 値を設定する。
Track Goal By Parameter Parser	特定のゴールと特定のシングル イベント パーサーを選択します。

9.2 FXM Content Tracking

FXM コンテンツ トラッキング ルールは、コンテンツ トラッキング ルールを指定するために使用されます。コンテンツ トラッキング ルールについての追加情報は、セクション 4.3 を参照してください。

9.2.1 条件

Federated Experience Manager には、コンテンツ トラッキング ルールを指定するための条件がありません。

9.2.2 アクション

このセクションでは、コンテンツ トラッキング ルールを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Apply Tracking From Field	指定したフィールドによって参照されたアイテムに割り当てられたトラッキング設定を適用します (たとえばゴールやプロフィール スコア) 指定されたフィールド タイプは、multilist、reference、または lookup のいずれかである必要があります。 (例) "categories" フィールドで指定されたアイテムのトラッキングを適用する
Apply Tracking From Parent	アイテムの親に割り当てられたトラッキング設定を適用します (たとえば、ゴールやプロフィール スコア)。

9.3 FXM Page

FXM ページ ルールは、外部ページ リクエストの結果の取り扱いをサポートするために使用されます。これには、クローリング プロセスやトラッキング プロセスが含まれます。

9.3.1 条件

このセクションでは、ページ ルールを指定するために有効な条件について説明します。

名前	説明
Check Header	特定のリクエスト ヘッダーの値が特定の値と一致するか確認します。 (例)条件 : "ホスト" リクエスト ヘッダーに "sitecore.net" が "含まれる" 場合
Check Link Extension	リクエストの URI に記号 # が含まれるか確認します。 (例) 条件 : リンク拡張子が "htm" "と等しい" 場合
Check Query String	特定のクエリ文字列パラメーターの値が特定の値と一致するか確認します。 (例) 条件 : "xxx" クエリ文字列パラメーターが "xxx" "と等しい" 場合
Check Referer	参照元がリクエストに指定されているか確認します。 この条件はトラッキング リクエストでのみ使用されます (つまり 外部ページでトリガーされたリクエストのみ)
If Meta Name	特定のメタ タグが外部ページに存在するか確認します。 (例) 条件 : "xxx" メタ タグが存在する場合
If Meta Name and Content	特定のメタ タグが外部ページに存在し、そのタグの値が特定の値と一致するかどうか確認します。 (例) 条件 : "xxx" メタ タグが存在し、値が "xxx" "と等しい" 場合
Valid Mirror Item	ミラー アイテムが存在するか確認します。

When Language	ルール コンテキストの言語が Sitecore の特定の言語定義アイテムと一致するか確認します。 (例) 条件 : 言語が "en" の場合
When Xpath Has Matches	外部ページに特定の xpath 式と一致する要素が含まれるか確認します。 (例)条件 : 外部ページに "xxx" xpath 式と一致する要素が含まれる場合
Where Link Has Jump Marks	リンクにジャンプ機能があるか確認します。
Where Path(s)	リクエストの URI 上の完全 path が特定の値と一致するか確認します。 (例) 条件 : path が "xxx" "含む" 場合

9.3.2 アクション

Federated Experience Manager にはページ ルールを指定するためのアクションはありません。

9.4 FXM Template Definition

FXM テンプレート定義ルールは、クローリング プロセス中にミラー アイテムに使用するテンプレートを判定するために使用されます。具体的には、これらのルールはクローリング ルールに設定される "create or update mirror item" アクションによって実行されます。

メモ:

ミラー アイテムに任意のテンプレートを使用可能な一方で、特定の方法でレイアウト詳細を設定し、ページ エディター ベースのナビゲーションを機能させる必要があります。詳細については、5.6 を参照してください。

9.4.1 条件

Federated Experience Manager にはテンプレート定義ルールを指定するための条件がありません。

9.4.2 アクション

このセクションでは、テンプレート定義アイテムを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Set Mirror Item Template	ミラー アイテムに基づくテンプレートを指定します。テンプレートは "External Page" テンプレートに基づきます。 (例) ミラー アイテムに "Product" テンプレートを使用する

9.5 FXM Tracking

FXM Tracking ルールは、トラッキング プロセス中に使用するトラッキング オプションを判定します。

9.5.1 条件

Federated Experience Manager にはトラッキング ルールを指定するための条件がありません。

9.5.2 アクション

このセクションでは、トラッキング ルールを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Increase Visitor Profile Value	<p>指定されたプロファイル キーの訪問者のスコアを指定された値まで増加させます。</p> <p>(例) "Building Trust" プロファイル キーの訪問者スコアを "10" まで増加させる</p>
Trigger Goal	<p>指定されたゴールを記録します。</p> <p>ゴールに設定されたプロパティは、ルール コンテキストに設定されたパラメーターによって判定されます。</p> <p>(例) "Order Placed" ゴールをトリガーする</p>
Set Page Event Property By String Value	<p>指定されたページ イベント プロパティに対応するルール コンテキスト パラメーターを指定された値に設定します。</p> <p>このアクションは、ゴールまたはページ イベントを記録するアクションによって実行される必要があります。</p> <p>(例) ページ イベントの "Text" プロパティを "Item Added To Cart" に設定する</p>
Set Page Event Property By XPath-Attribute	<p>指定されたページ イベント プロパティに対応するルール コンテキスト パラメーターを、指定された xpath 式に一致する指定された属性値に設定します。</p> <p>このアクションは、ゴールまたはページ イベントを記録するアクションによって実行される必要があります。</p>

	(例) xpath "//img[@id='responseimage']" に一致する外部文書にある要素の "alt" 属性値を使用して、ページ イベントの "Text" プロパティを設定する
Set Page Event Property By XPath-Innertext	<p>指定されたページ イベント プロパティに一致するルール コンテキスト パラメーターを、指定された xpath 式に一致する要素の内部テキスト値に設定します。</p> <p>このアクションは、ゴールまたはページ イベントをレコードするアクションによって実行される必要があります。</p> <p>(例) xpath "//p[@id='response-description']" に一致する外部文書にある要素の内部テキスト値を使用してページ イベントの "Text" プロパティを設定する</p>
Trigger Page Event	<p>指定されたページ イベントをレコードします。</p> <p>ページ イベントに設定されているプロパティはルール コンテキストに設定されているパラメーターによって判定されます。</p> <p>(例) "Item Added to Cart" ページ イベントをトリガーする</p>
Clear Page Event Properties	すべてのパラメーターをルール コンテキストから削除します。
Set The Profile Card Values For The Visitor With Percentage	<p>指定されたパーセンテージを使用して、指定されたプロフィールカードに割り当てられたプロフィール スコアをレコードします。</p> <p>(例) "50"% の訪問者に "Window Shopper" プロフィールカードを設定する</p>

9.6 FXM Tracking Configuration

FXM Tracking Configuration ルールは、クローリング プロセス中にミラー アイテムに割り当てるトラッキング オプションを判定するために使用されます。具体的には、これらのルールはクローリング ルールに設定される "create or update mirror item" アクションによって実行されます。

9.6.1 条件

Federated Experience Manager にはトラッキング設定ルールを指定するための条件はありません。

9.6.2 アクション

このセクションで、トラッキング設定ルールを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Assign Tracking Settings	指定されたトラッキング設定アイテムをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "Products Tracking" トラッキング設定アイテムをミラー アイテムに割り当てる
Assign Profile Card	指定されたプロフィール カードをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "Window Shopper" プロフィール カードをミラー アイテムに割り当てる
Assign Profile Card With Percentage	指定されたパーセンテージを使用して、指定されたプロフィール カードをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "50%" の訪問者に "Window Shopper" プロフィール カードを設定する
Assign Profile Key Value	指定された値を指定されたプロフィール キーに割り当てます。 (例) 値 "10" を持つ "Building Trust" プロフィール キーをミラー アイテムに割り当てる
Assign Page Event	指定されたページ イベントをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "Item Added To Cart" ページ イベントをミラー アイテムに割り当てる
Assign Goal	指定されたゴールをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "Order Placed" ゴールをミラー アイテムに割り当てる

Assign Campaign	指定されたキャンペーンをミラー アイテムに割り当てます。 (例) "Mobile Extravaganza" キャンペーンをミラー アイテムに割り当てる
Disable Analytics	ミラー アイテムのアナリティクスを無効化します。

9.7 FXM Web Crawling

FXM Web クローリング ルールは、クローリング プロセス中にミラー アイテムの作成および更新をコントロールするために使用されます。

9.7.1 条件

このセクションでは、web クローリング ルールを指定するために有効な条件について説明します。

名前	説明
Run By Crawler	ミラー アイテムの処理がクローラーによって開始されたかどうか判定します。
Run By External Request	ミラー アイテムの処理が外部ページ ビューによって開始されたかどうか判定します。
Run By Page Editor	ミラー アイテムの処理がページ エディター内の外部ページ ビューアーによって開始されたかどうか判定します。

9.7.2 アクション

このセクションでは、web クローリング ルールを指定するために有効なアクションについて説明します。

名前	説明
Create Or Update Mirror Item	ミラー アイテムを作成するかどうか、またはミラー アイテムが既に存在する場合はミラー アイテムに使用されるテンプレートが現行の設定と一致することを確認します。 ミラー アイテムはサイトのコンテンツ データベースで作成されます。
Make Bucket	ミラー アイテム をアイテム バケットにします。

Prevent Crawling	現行ページのクローリング不可を示すフラグをルール コンテキストに設定します (これは現行ページのリンクがこれ以上処理されないことを意味します)
Publish Mirror Item	ミラー アイテムをサイトのデータベースにパブリッシュします。
Create Or Update Mirror Item	<p>指定されたデータベースソースからミラー アイテムを解決します。このアクションの結果として、ルール コンテキストのアイテム プロパティがミラー アイテムに設定されます。</p> <p>デフォルトで有効なデータベースが 2 つあります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. Sitecore コンテキストは、標準のリクエスト処理プロセスによって解決されたコンテキスト データベースを使用します。2. コンテンツ データベース設定は、コンテキスト サイトで指定されたコンテンツ データベースを使用します。 <p>(例) "Sitecore context" のミラー アイテムを解決する</p>